

令和6年度
第1回葛飾区区民モニターアンケート
調査報告書

- －「区が提供する「健康アプリ」に求めるものについて」－
－「区民との協働の街づくりについて」－

令和6年8月



目次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査のテーマ	1
3.	調査の設計	1
4.	調査機関	1
5.	報告書の表記について	1
II	回答者の属性	2
III	調査結果の詳細	6
1.	区が提供する「健康アプリ」に求めるものについて	6
(1)	健康意識	6
(2)	葛飾区健康アプリの認知度	8
(3)	葛飾区健康アプリをどこで知ったか	10
(4)	健康に関するスマートフォンアプリの利用意向	12
(5-1)	利用しているアプリについて	14
(5-2 (1))	利用しているアプリの良かった点	15
(5-2 (2))	利用しているアプリの改善点	16
(6)	健康アプリを葛飾区が提供する場合、利用したいか	18
(7)	利用したい理由	20
(8)	利用したくない理由	22
(9)	健康アプリの利用からどのような健康習慣を身につけたいか	24
(10)	インセンティブ（動機）	26
(11)	貯めたポイントを交換したい主な特典は何か	28
(12)	健康アプリの機能	30
2.	区民との協働の街づくりについて	32
(13)	区内関係団体の所属の有無	32
(14)	通勤/通学先の場所	34
(15)	住まいの形式・所有形態	36
(16)	区内に住んでいる期間	38
(17)	葛飾区都市計画マスタープランの認知度について	40
(18)	葛飾区都市計画マスタープランを説明する動画の認知度	42
(19)	葛飾区都市計画マスタープランの周知方法	44
(20)	都市計画マスタープランにおける6つの方針の重要度について	46

(21) 地域のまちの課題について	48
(22) どのような課題か	50
(23) 相談できる仲間や発信できる場の有無	52
(24) 相談できる仲間や発信できる場について	54
(25) 葛飾区区民参加による街づくり推進条例について	56
(26) 街づくり活動への参加について	58
(27) 街づくり活動とはどのような活動か	60
(28-1) 街づくり計画の作成にかかる活動の助成として、魅力を感じるもの ...	62
(28-2) 街づくり計画の作成にかかる支援として、魅力を感じるもの	64
(29) 街づくり推進条例について	66

I 調査概要

1. 調査の目的

区が実施している施策や区が発信している情報等について、無作為に選定した方から公募により決定した「区民モニター」から、適時かつ具体的なご意見を収集することにより、区政への活用を図るもの。

2. 調査のテーマ

- (1) 区が提供する「健康アプリ」に求めるものについて
- (2) 区民との協働の街づくりについて

3. 調査の設計

- | | |
|-----------|---|
| (1) 調査対象 | 無作為に選定した18歳以上の区民4,000人から公募により決定した区民モニター500名 |
| (2) 調査方法 | インターネットでの回答 |
| (3) 調査期間 | 令和6年6月12日(水)～7月3日(水) |
| (4) 有効回収数 | 455名 |

4. 調査機関

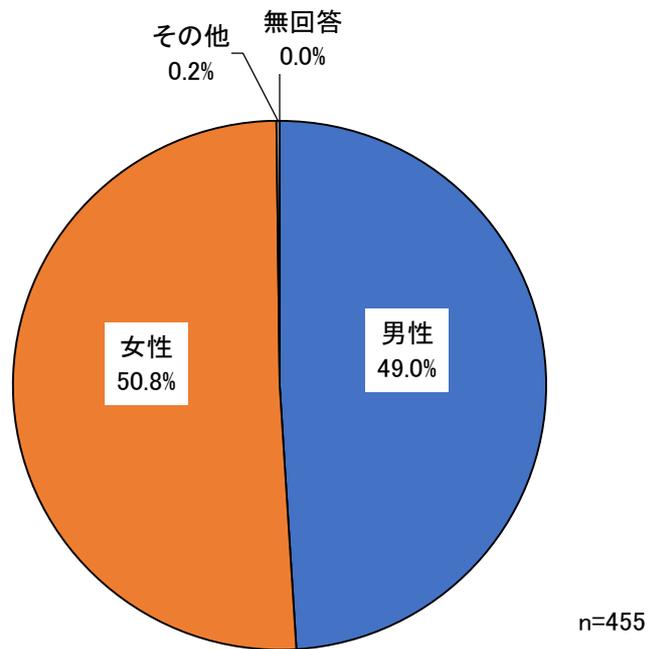
株式会社都市計画21

5. 報告書の表記について

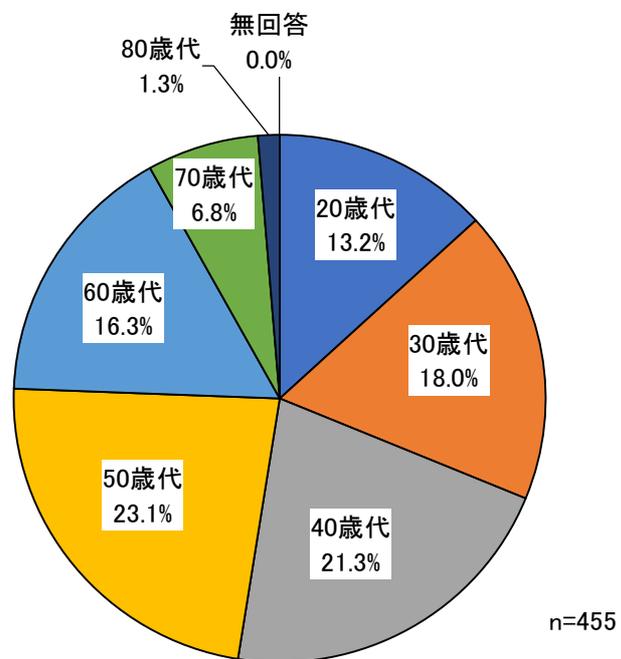
- (1) 比率は全て百分率で表記し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのため、四捨五入によって生じる誤差により、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) “n”は各設問の回答数を示している。比率はnを母数として、算出している。
- (3) 複数回答の設問では、1人が複数の回答を選択可能なため、各選択肢における回答数の合計が100%を超過している。
- (4) 年齢層・年代別の20歳代には、18歳・19歳を含んでいる。
- (5) 年齢層・年代別の80歳代には、90歳以上を含んでいる。

II 回答者の属性

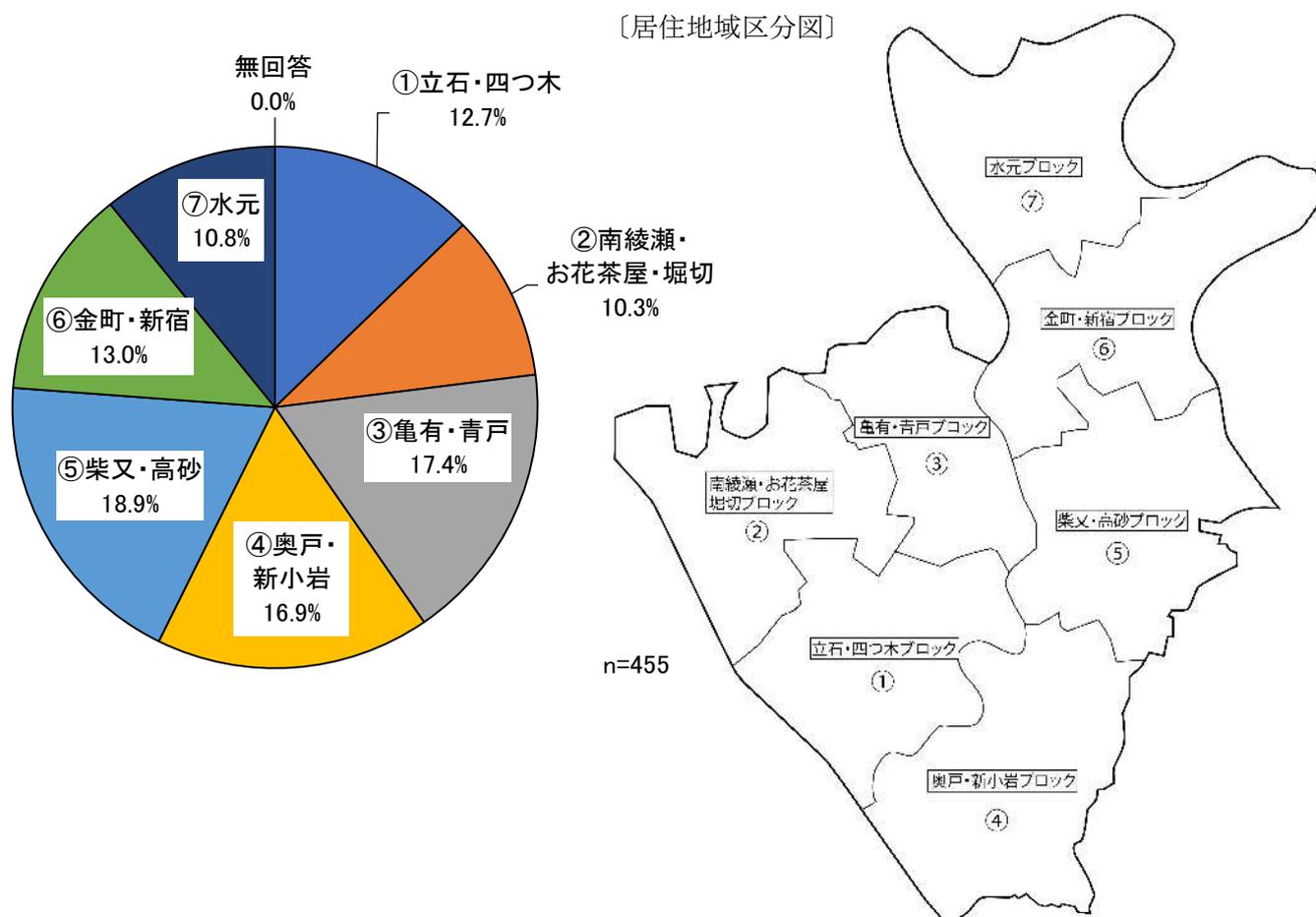
(1) 性別



(2) 年齢層



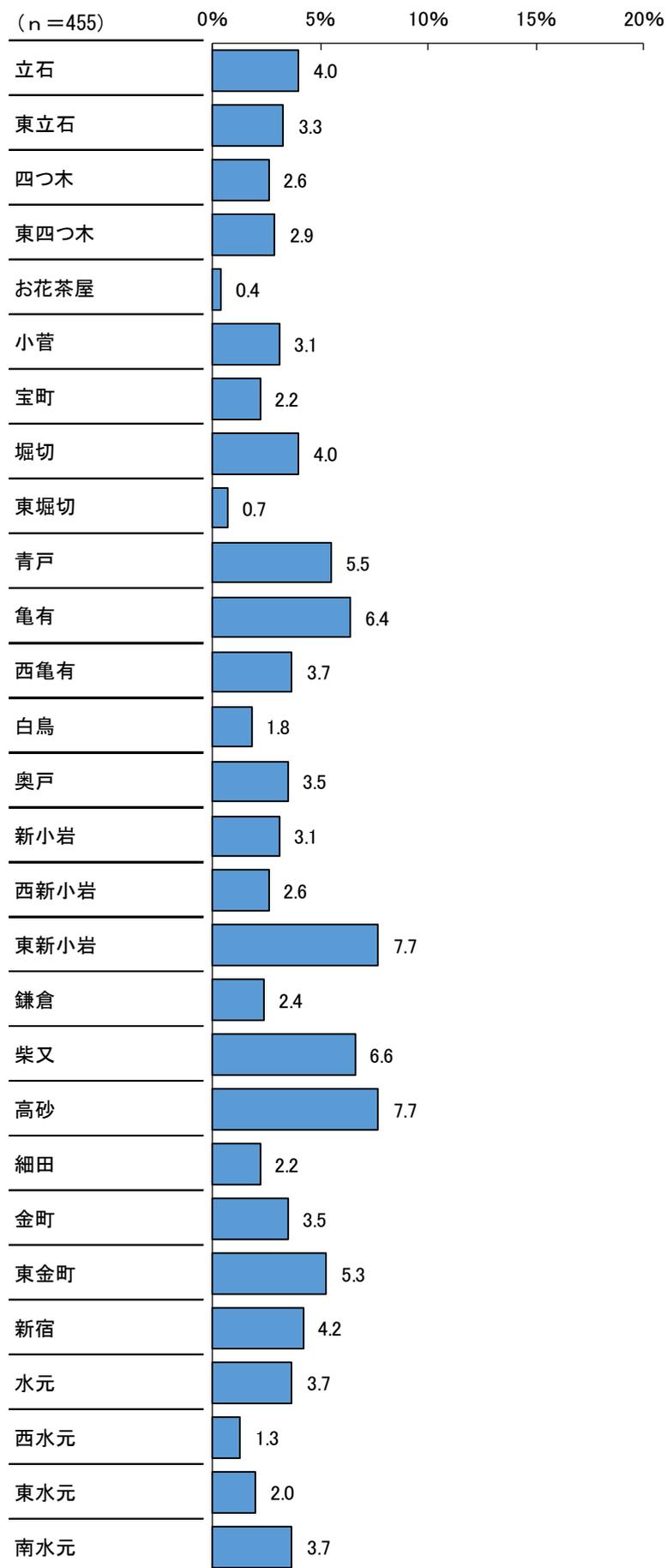
(3) 居住地域 (7区分)



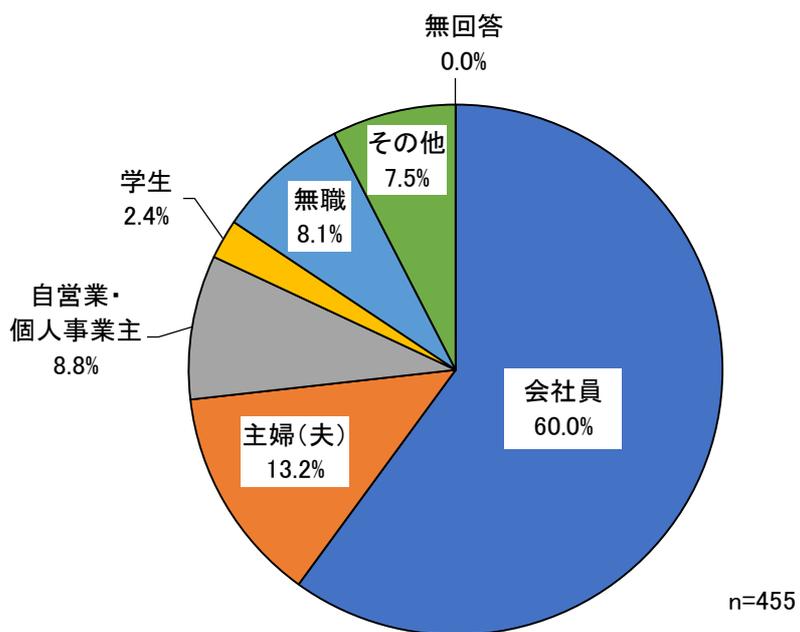
〔居住地域区分表〕

	ブロック名	町名
1	立石・四つ木ブロック	立石・東立石・四つ木・東四つ木
2	南綾瀬・お花茶屋・堀切ブロック	お花茶屋・小菅・宝町・堀切・東堀切
3	亀有・青戸ブロック	青戸・亀有・西亀有・白鳥
4	奥戸・新小岩ブロック	奥戸・新小岩・西新小岩・東新小岩
5	柴又・高砂ブロック	鎌倉・柴又・高砂・細田
6	金町・新宿ブロック	金町・東金町・新宿
7	水元ブロック	水元・西水元・東水元・南水元

(4) 居住地域 (28区分)



(5) 職業



(6) 居住地域別 (7区分) × 性別・年代別

(%)

		立石・四つ木	南綾瀬・お花茶屋・堀切	亀有・青戸	奥戸・新小岩	柴又・高砂	金町・新宿	水元	無回答
n									
【性別】	全体 (455)	12.7	10.3	17.4	16.9	18.9	13.0	10.8	
	男性 (223)	16.1	7.2	14.3	19.3	19.7	14.8	8.5	
	女性 (231)	9.5	13.4	20.3	14.3	18.2	11.3	13.0	
	その他 (1)	100.0							
【年代別】	20歳代 (60)	20.0	10.0	15.0	11.7	20.0	11.7	11.7	
	30歳代 (82)	4.9	11.0	19.5	17.1	25.6	12.2	9.8	
	40歳代 (97)	15.5	11.3	20.6	18.6	12.4	15.5	6.2	
	50歳代 (105)	10.5	8.6	14.3	23.8	17.1	13.3	12.4	
	60歳代 (74)	12.2	13.5	13.5	14.9	18.9	9.5	17.6	
	70歳代 (31)	19.4	3.2	25.8	3.2	25.8	19.4	3.2	
	80歳代 (6)	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	

Ⅲ 調査結果の詳細

1. 区が提供する「健康アプリ」に求めるものについて

葛飾区は、区民の健康づくりを支援し健康寿命を延伸するため、本年10月から区民の皆様向けに「健康アプリ（※）」の提供を開始します。多くの区民の皆様にも魅力的で満足度の高い「健康アプリ」を提供するため、「健康アプリ」に対してどのような期待や要望をお持ちか、区民モニターの皆様にご意見をお伺いします。

※ ここで言う「健康アプリ」とは
健康活動の記録・提案、健康活動やその成果などに応じて区内店舗で使えるポイントの取得等ができるスマートフォンアプリです。

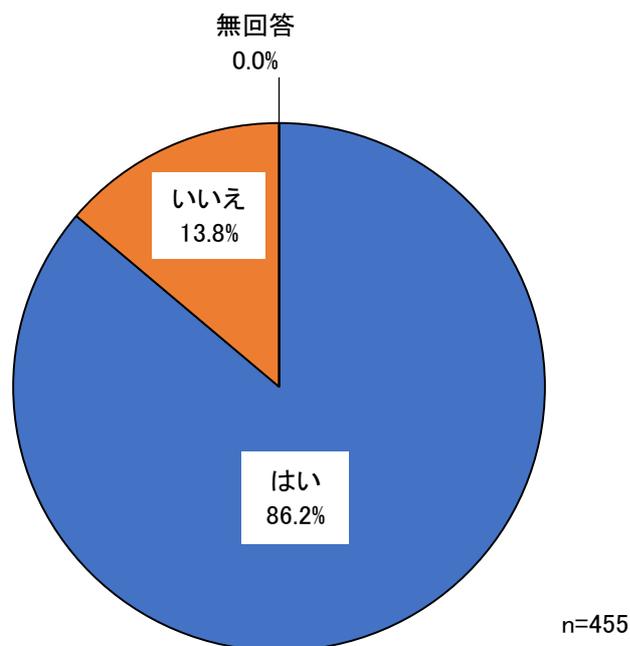
(1) 健康意識

問1 普段から健康に意識を向けていますか。(1つ選択)

普段から健康に意識を向けているかについては、「はい」が86.2%、「いいえ」が13.8%となっている。

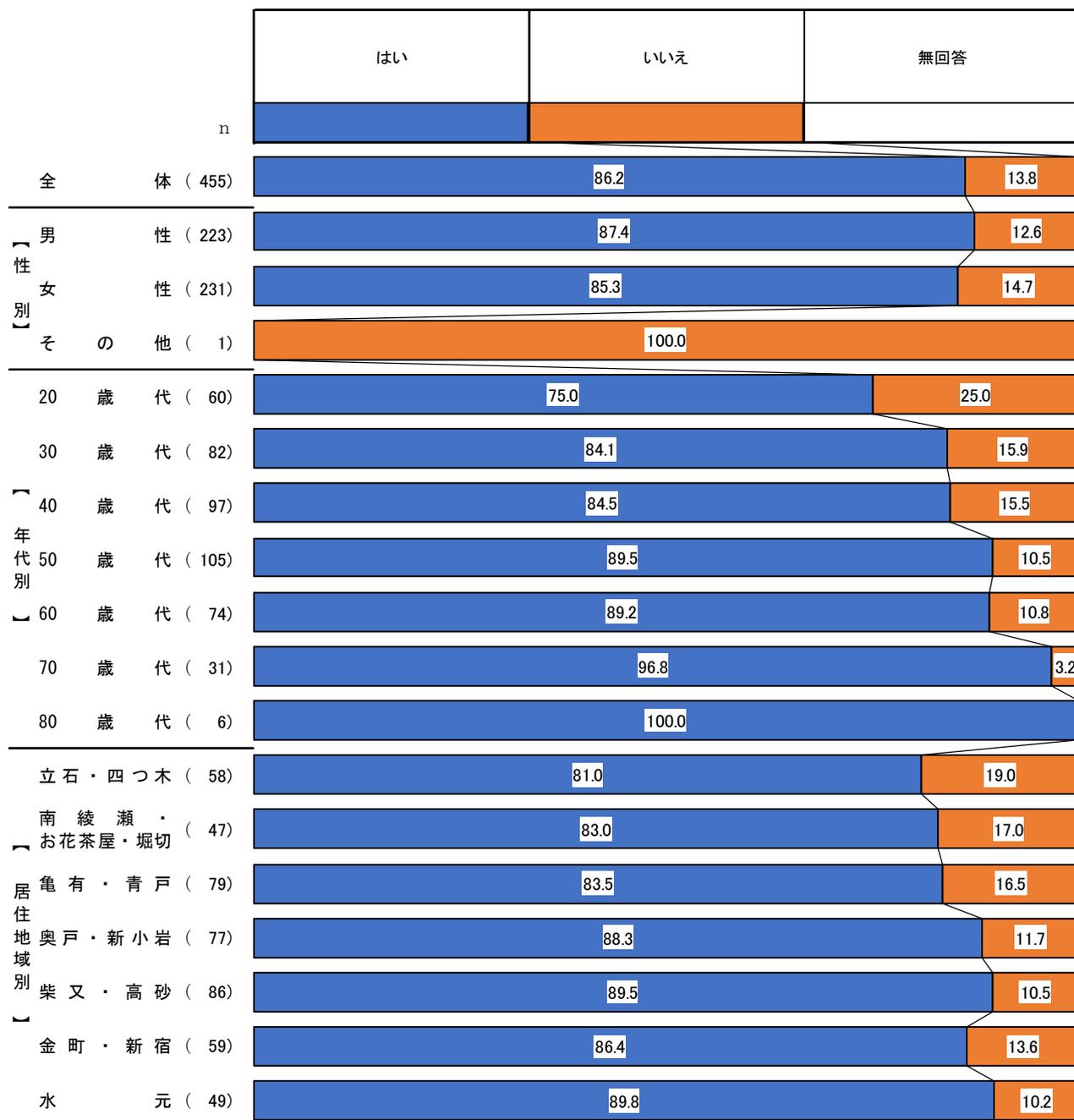
年代別でみると、「はい」は、全ての年代で7割以上と高く、年代が高くなるにつれて「はい」の割合が高くなっている。

図表-1 普段から健康に意識を向けているか(全体)



図表－２ 普段から健康に意識を向けているか
 (全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



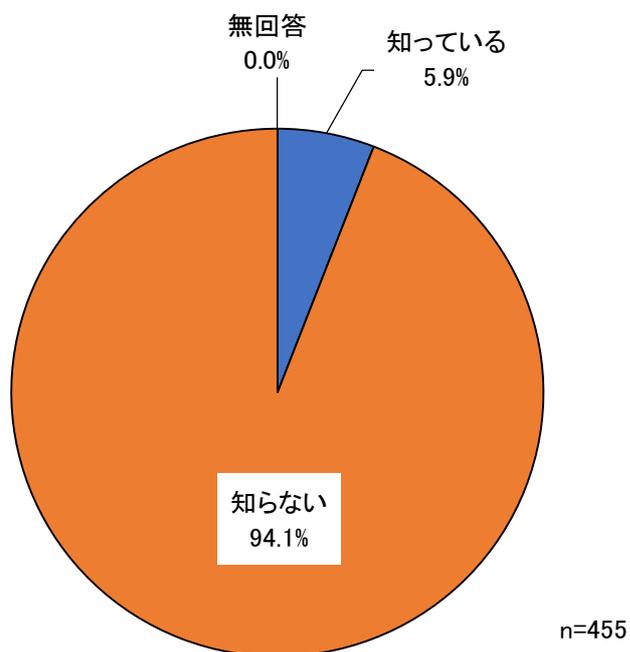
(2) 葛飾区健康アプリの認知度

問2 令和5年6月1日から令和6年2月29日まで、葛飾区は区民の方に「スマホを使って健康づくり！～かつしか健康チャレンジ～」と題して「健康アプリ（WoLN）」を提供していました。この健康アプリはご存知ですか。（1つ選択）

葛飾区健康アプリの認知度については、「知らない」が94.1%、「知っている」は、5.9%となっている。

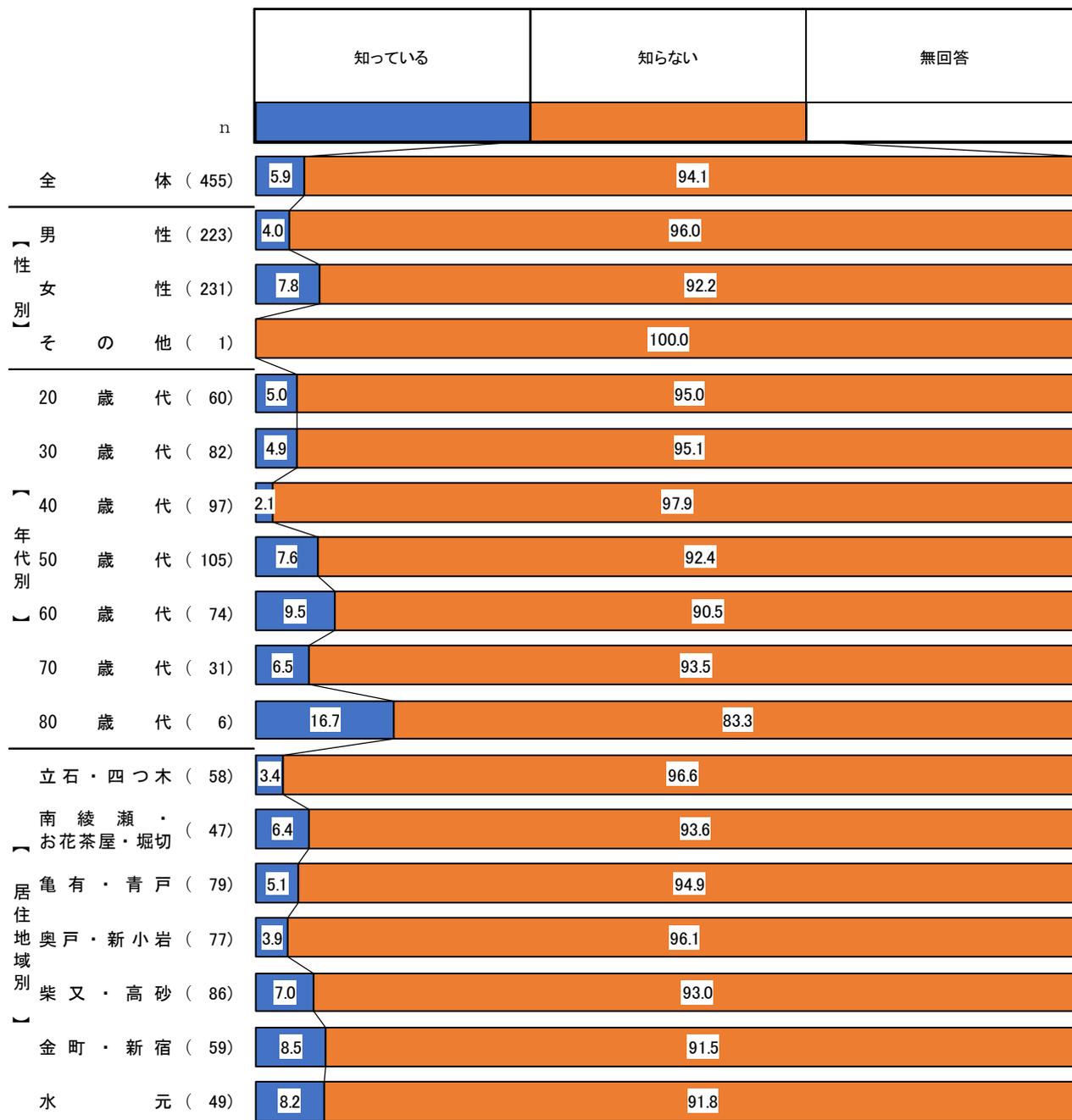
年代別にみると、「知らない」は、全ての年代で8割以上となっている。

図表-3 葛飾区健康アプリの認知度（全体）



図表－4 葛飾区健康アプリの認知度
 (全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(3) 葛飾区健康アプリをどこで知ったか

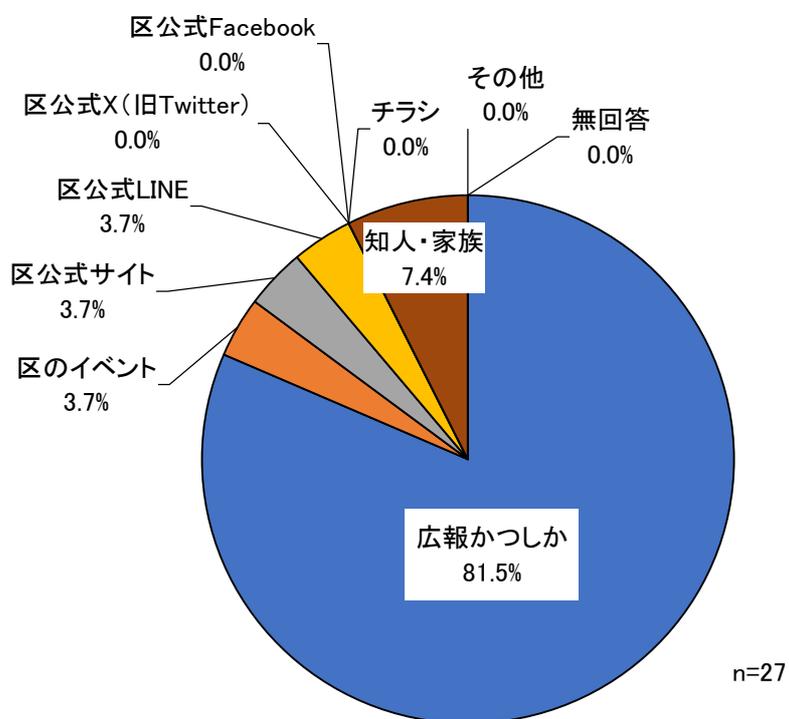
問3 問2で選択肢1「知っている」と答えた方に伺います。

葛飾区が提供する健康アプリはどのように知りましたか。(1つ選択)

葛飾区健康アプリをどこで知ったかについては、「広報かつしか」が81.5%で最も高く、次いで「知人・家族」が7.4%、「区のイベント」と「区公式サイト」、「区公式LINE」がいずれも3.7%となっている。

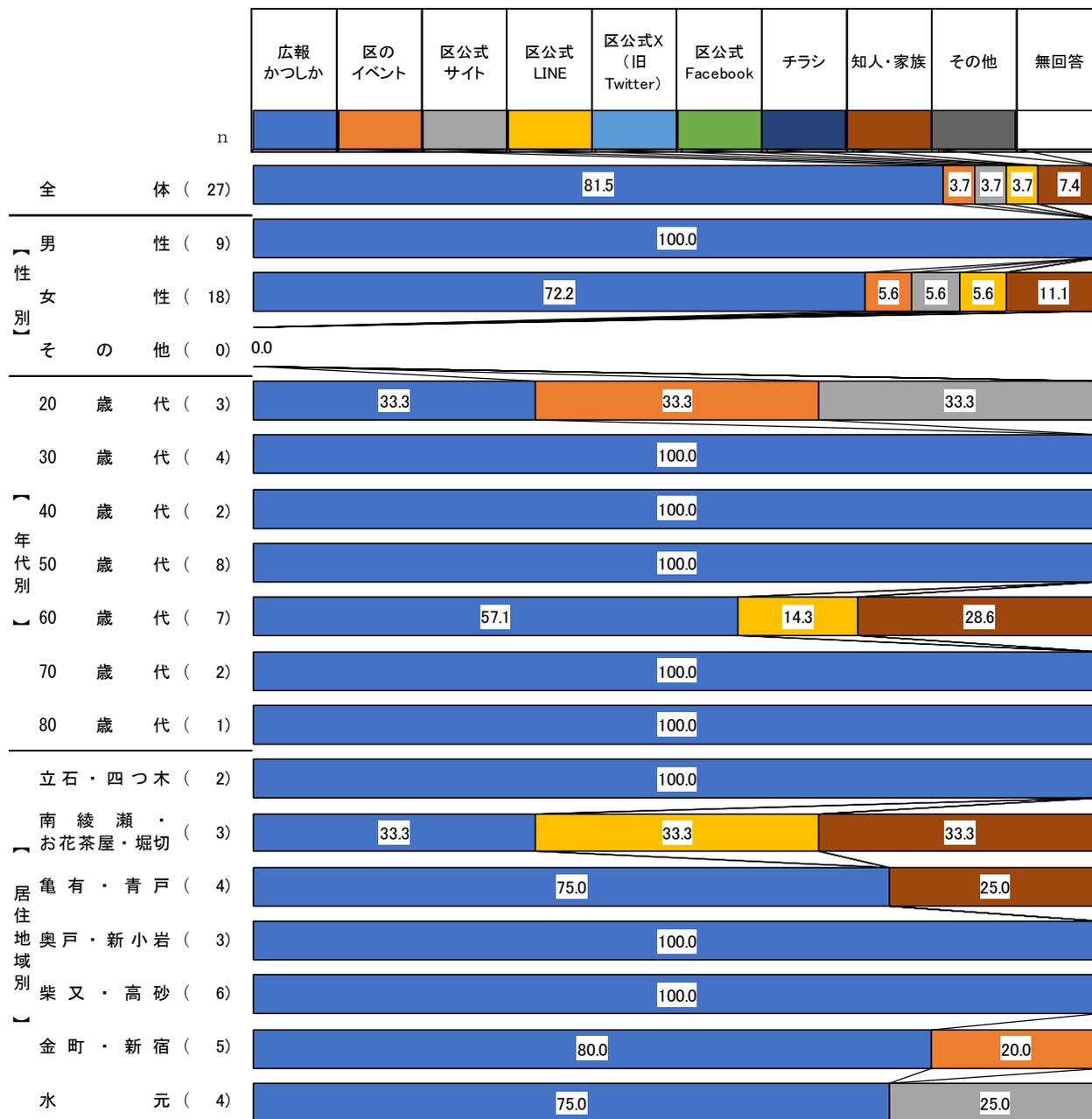
年代別にみると、「広報かつしか」は、20歳代と60歳代を除く全ての年代で100.0%となっている。

図表-5 葛飾区健康アプリをどこで知ったか(全体)



図表-6 葛飾区健康アプリをどこで知ったか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



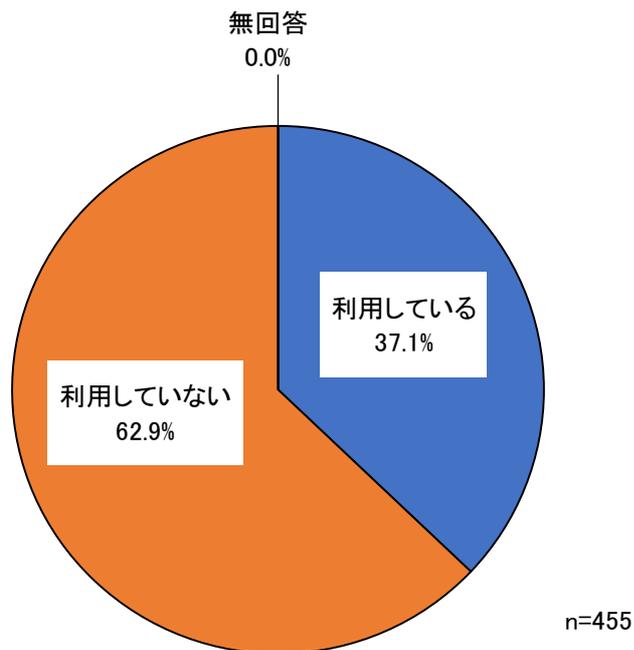
(4) 健康に関するスマートフォンアプリの利用意向

問4 健康に関するスマートフォンアプリを普段使用していますか。(葛飾区が提供するものを除く)(1つ選択)

健康に関するスマートフォンアプリの利用意向については、「利用している」が37.1%、「利用していない」が62.9%となっている。

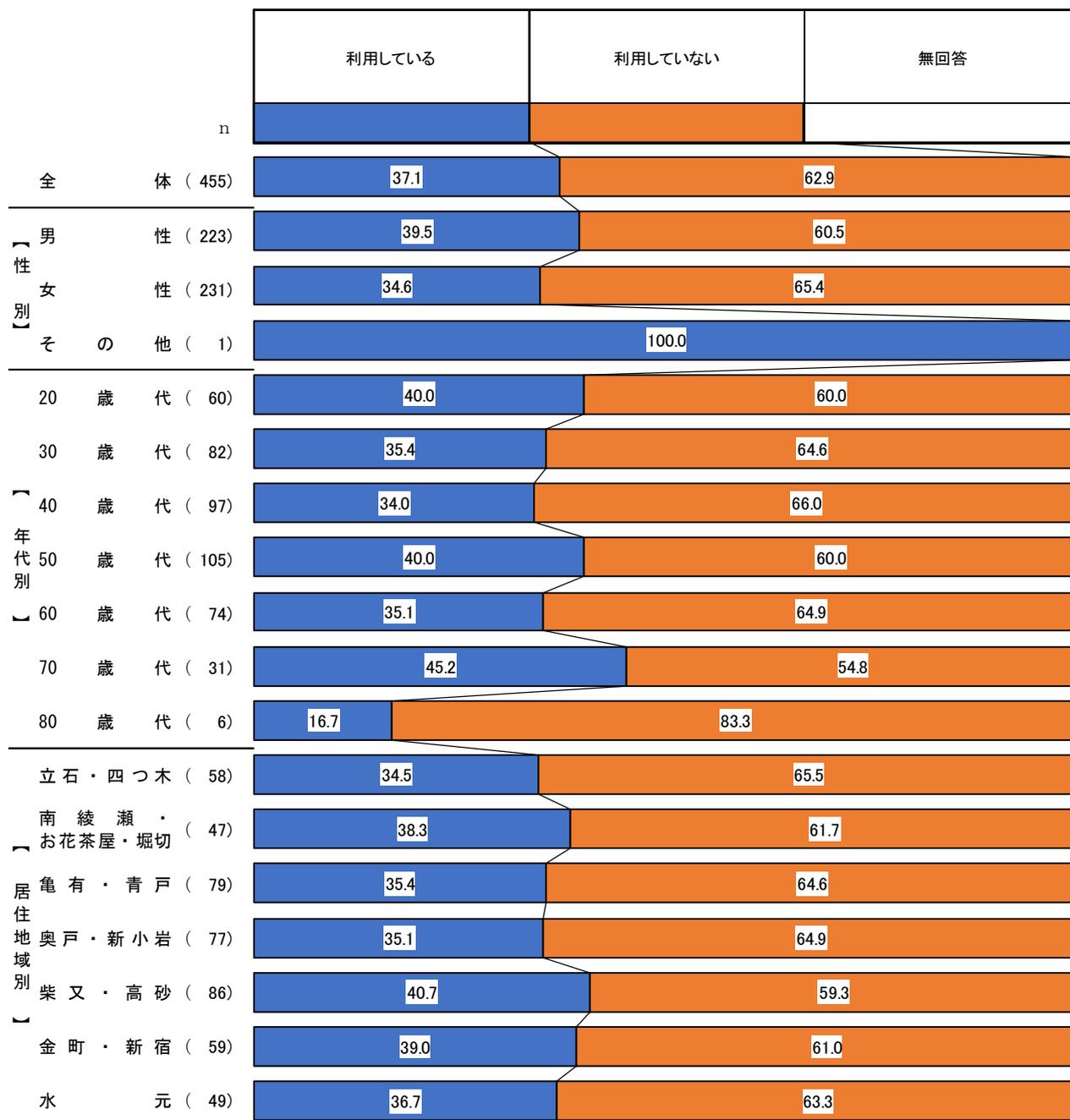
年代別にみると、「利用している」は、80歳代を除く全ての年代で3割以上となっている。

図表-7 健康に関するスマートフォンアプリの利用意向(全体)



図表－8 健康に関するスマートフォンアプリの利用意向
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(5-1) 利用しているアプリについて

問5-1 問4で選択肢1「利用している」と答えた方に伺います。
差し支えなければ、そのアプリを教えてください。

※「アプリ名」については、企業の不利益情報にあたる可能性があるため回答結果は非公表とさせていただきます。

(5-2 (1)) 利用しているアプリの良かった点

問5-1 (1) 問4で選択肢1「利用している」と答えた方に伺います。
そのアプリの良かった点があれば教えてください。

【主なご意見】

- ・毎日の目標歩数を決め、達成するよう意識付けできる。
- ・歩数を表示されるので運動量の目安や日々の励みになる
- ・日々の運動量がわかり、毎月の運動量を振り返る事が出来る。
- ・Bluetoothで体重計と連携できる。
- ・睡眠の質に気を遣うようになり、睡眠時間が延びた。
- ・歩いた歩数や食事の記録などをするとポイントがたまり商品券などと交換出来ること。
- ・生理周期や排卵日などを記録できる。妊活に繋がることのできる点。
- ・自動で運動の内容を記録してくれる。
- ・生理周期の管理ができて助かっている。
- ・毎日体重の記録をしてグラフにしてくれる。
- ・自分のメンタルや体調を見直す事ができる。
- ・処方箋をアプリから送信でき薬局での待ち時間が少なくてすむ。
- ・スマートウォッチと連携するので便利。
- ・歩数の管理が時間、日、週、月と細分化されてわかりやすい。
- ・歩数に応じてマイルが獲得できる。
- ・1日の歩数、運動量を手軽に測れる。
- ・計測項目が豊富で、過去情報が見やすい。
- ・直近の傾向が分かって励みになる。
- ・消費カロリーが分かる。
- ・朝晩の血圧測定結果をアプリで管理できる。
- ・心拍、睡眠の質、睡眠時間を測ることができる。
- ・スマートフォンの画面にウィジェットとして表示でき、一定の運動量を達成すると通知が来る。
- ・減量目標達成のために必要な消費カロリーを明示してくれる。
- ・スマホや、スマートウォッチを保持するだけで自動的に健康管理、運動量の測定ができ、簡単に利用出来るため。
- ・体重だけではなく、BMIや体脂肪率などの記録ができるところ。
- ・食事のカロリーや栄養成分の記録がとりやすい。
- ・足りない栄養素を可視化出来る点。
- ・食事の栄養計算が簡単にできる。
- ・カロリーや栄養が一目でわかり、栄養士からの点数がついて健康へのモチベーションが上がった。
- ・ゲームをしながら散歩ができ、散歩の目的になる。
- ・無料で利用できること。
- ・マッサージやエステなどの利用予約が出来る。

(5-2 (2)) 利用しているアプリの改善点

問5-1 (2) 問4で選択肢1「利用している」と答えた方に伺います。
そのアプリに改善してほしい点があれば教えてください。

【主なご意見】

- ・最近有料オプションが増えた。
- ・もっと分かりやすくしてほしい。
- ・ポイント還元率をもっと高くなると良い。
- ・時間帯の進捗と自転車等の確認もできればよいと思う。
- ・スマートフォンのバッテリーの消費が激しい点。
- ・歩く以外の健康要素でマイルがたまると嬉しい。
- ・デザインやレイアウト。
- ・睡眠の質や体重等、履歴を残すことができるようにしてほしい。
- ・夜散歩するときに画面を確認すると眩しい場合があるので、ナイトモードをつけてほしい。
- ・起動や更新速度をより早くしてほしい。
- ・栄養士などからのアドバイスがあると良いと思う。
- ・一度確定したデータの修正ができないので、修正出来ると良いと思う。
- ・入力したデータの傾向から、アドバイスや次なる目標となる指標などを示してくれるとモチベーションに繋がると思う。
- ・たまに、カウントされていないことがある。
- ・生理も記録できるようになってほしい。
- ・マイナンバーによる一元管理。
- ・規定ポイント数が高いので、景品をすぐには交換できないこと。
- ・ポイント交換できる商品のラインナップを増やしてほしい。
- ・足りない栄養素などがあるときに、これを食べるといいよという選択肢が出ると嬉しい。
- ・自分が薬を飲んだ時をチェックしているので、気象状況を事前にプッシュ通知で教えて欲しい。
- ・通信量を抑えてほしい。
- ・アプリというよりはGPSの問題になるが、距離の精度がもう少し高いと良い。
- ・登録されてる食品が少ない。
- ・走った場合や自転車利用でも消費カロリーが測定できると良い。
- ・有料コンテンツが多すぎる。
- ・一万歩でカウントストップするのでもっと多く歩いた分マイルが貰えると良い。
- ・活動量 (PAI) の測定は心拍数を元に行っているようだが、歩くことによる振動も心拍数に数えられているようで、正しい把握になっていないと思うので、心拍数を正しく測定するようしてもらえるとよいと思います。
- ・機能多すぎて使い切れない。
- ・医療機関との連携強化。
- ・アプリを開いたときにデータが反映されていないこと。
- ・不具合で作動しないことがまあまあある。

- ・体重も記録できるようにしてほしい。
- ・ログインしないとポイントがもらえないこと。
- ・体重、血圧等の入力ができる測定器があれば良いと思う。
- ・測定したデータを基に、どのような食事を摂れば正常値に近づけるか等のアドバイス(料理のレシピ)なども提供されるとなお良い。
- ・情報量が多すぎる。

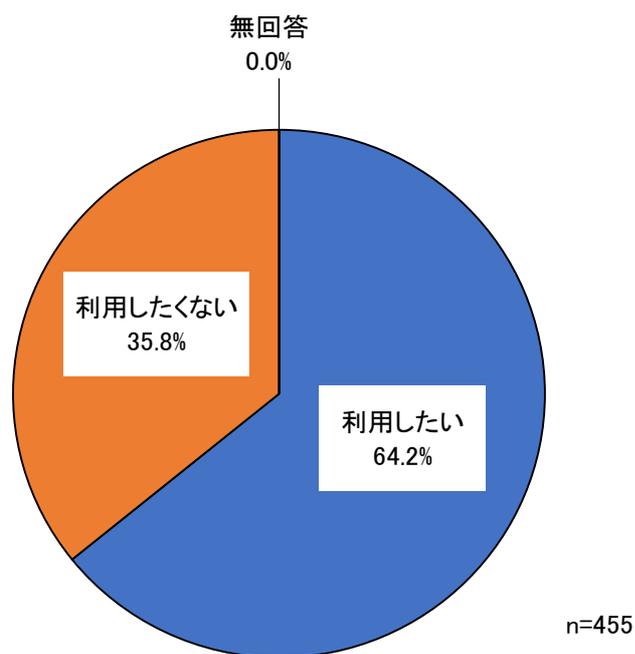
(6) 健康アプリを葛飾区が提供する場合、利用したいか

問6 健康アプリを葛飾区が提供する場合、利用したいと思いますか。(1つ選択)

健康アプリを葛飾区が提供する場合、利用したいかについては、「利用したい」が64.2%、「利用したくない」が35.8%となっている。

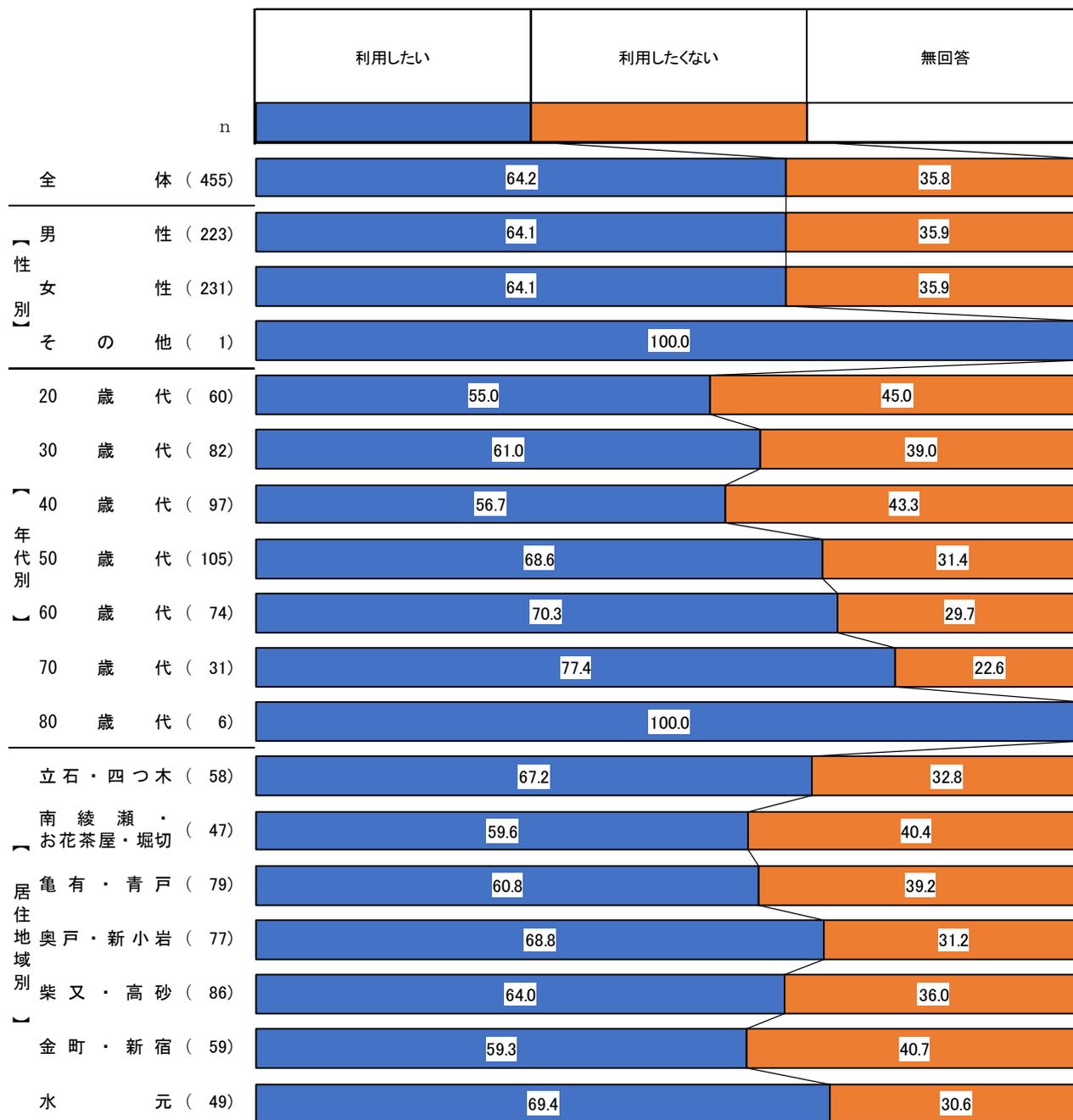
年代別でみると、「利用したい」は、全ての年代で5割以上となっており、60歳代から80歳代で7割以上となっている。

図表－9 健康アプリを葛飾区が提供する場合、利用したいか（全体）



図表-10 健康アプリを葛飾区が提供する場合、利用したいか
 (全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(7) 利用したい理由

問7 問6で選択肢1「利用したい」と答えた方に伺います。

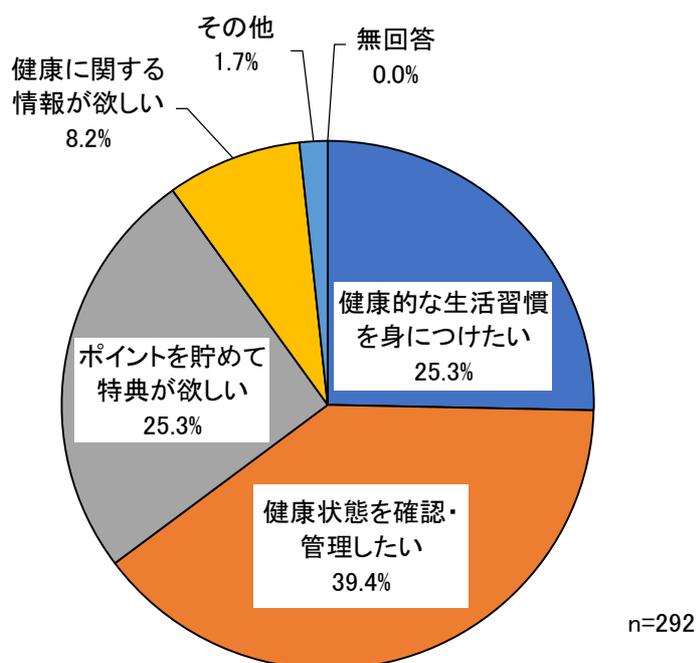
その主な理由は何ですか。(1つ選択)

葛飾区健康アプリを利用したい理由については、「健康状態を確認・管理したい」が39.4%で最も高く、次いで「健康的な生活習慣を身につけたい」と「ポイントを貯めて特典が欲しい」がいずれも25.3%となっている。

年代別でみると、「健康状態を確認・管理したい」は、30歳代と50歳代から70歳代で4割以上となっている。また、「ポイントを貯めて特典が欲しい」は、20歳代から40歳代で3割以上と高くなっている。

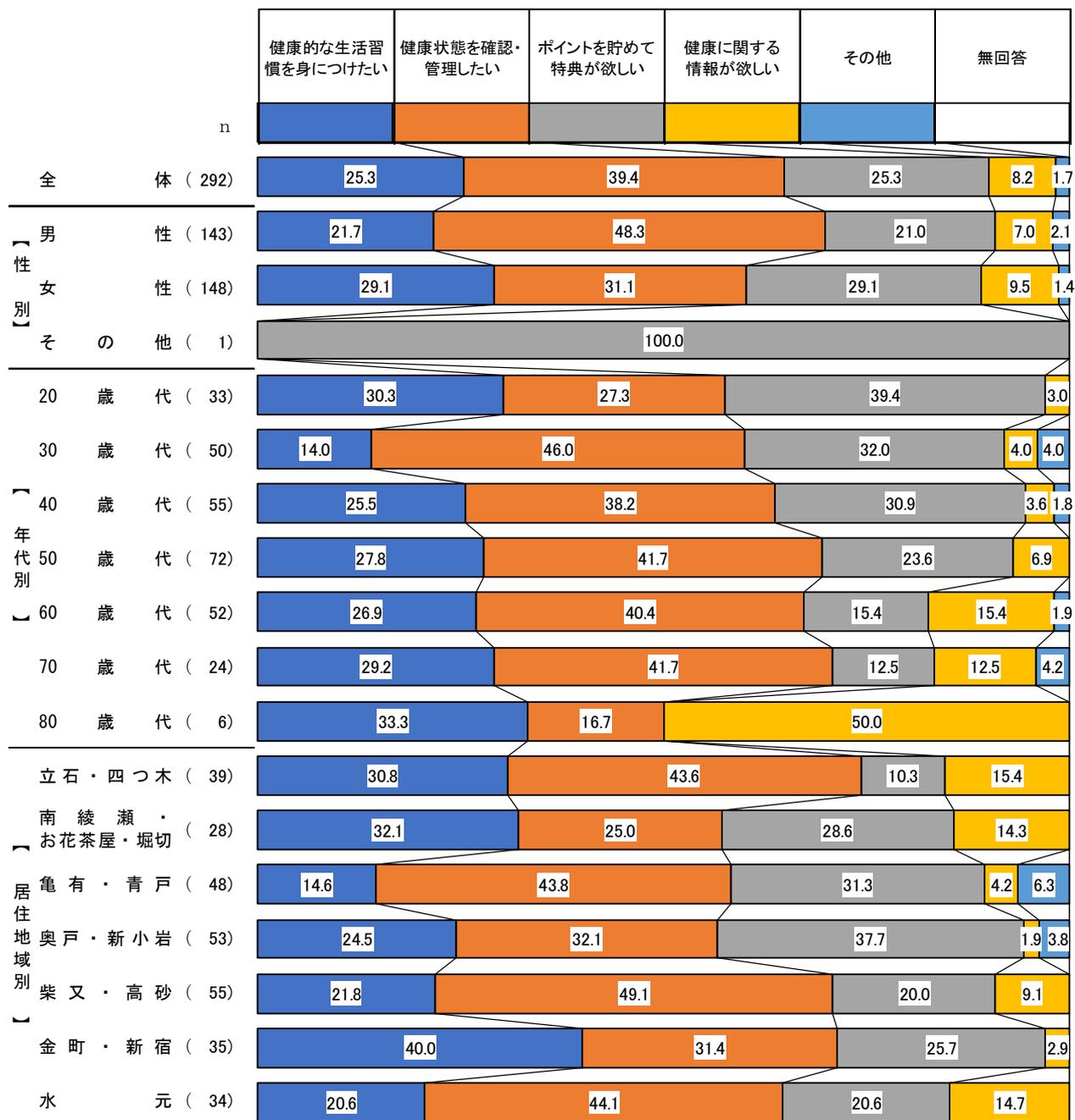
「その他」の内容としては、「ジムやゴルフやバッティングセンターなど多彩な運動施設の補助があれば使いたい」、「無料で有料アプリに匹敵するクオリティーなら使いたい」、「クラブなどの通える場所に使えるのであれば使いたい」などがある。

図表-11 利用したい理由 (全体)



図表-12 利用したい理由
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(8) 利用したくない理由

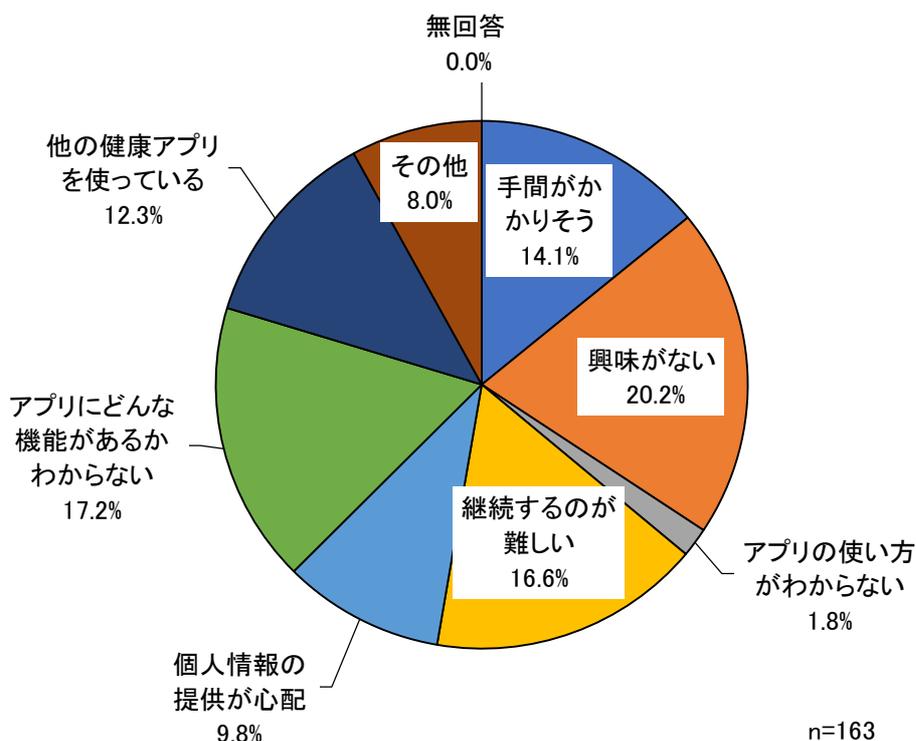
問8 問6で選択肢2「利用したくない」と答えた方に伺います。
その主な理由は何ですか。(1つ選択)

葛飾区健康アプリを利用したくない理由については、「興味がない」が20.2%で最も高く、次いで「アプリにどんな機能があるかわからない」が17.2%、「継続するのが難しい」が16.6%となっている。

年代別で見ると、「興味がない」が20歳代で4割以上と高くなっている。「アプリにどんな機能があるかわからない」が60歳代と30歳代で2割以上、「継続するのが難しい」が30歳代と40歳代で2割以上と高くなっている。

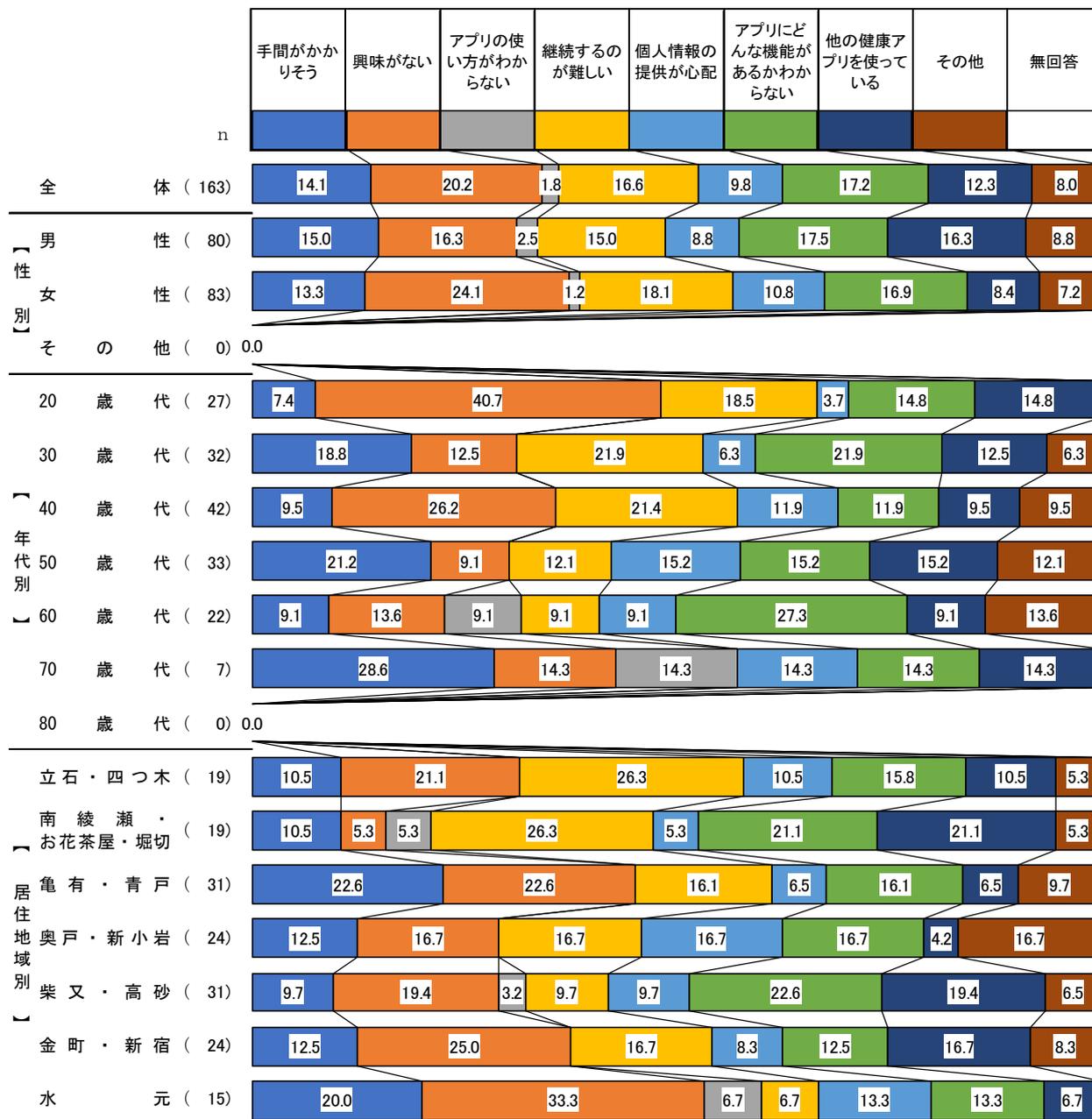
「その他」の内容としては、「他のアプリの方が品質が良いと思われるため」、「ポイントなど付加価値がないとやる気にならないから」、「仕事で帰りが遅かったり、アプリ通りにはいかない事が多いから」、「自治体がアプリまで作ってやることでは無いと思うから」などがある。

図表-13 利用したくない理由（全体）



図表-14 利用したくない理由
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(9) 健康アプリの利用からどのような健康習慣を身につけたいか

問9 健康アプリを利用することで主にどのような健康習慣を身につけたいですか。

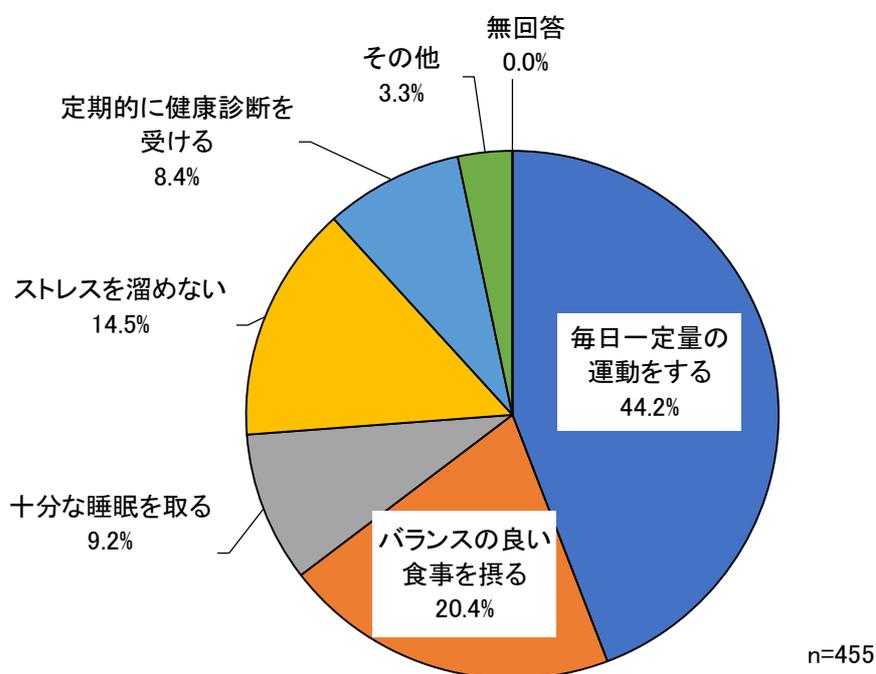
(1つ選択)

健康アプリの利用からどのような健康習慣を身につけたいかについては、「毎日一定量の運動をする」が44.2%、次いで「バランスの良い食事を取る」が20.4%となっている。

年代別でみると、「毎日一定量の運動をする」は、全ての年代で3割以上となっている。また、「ストレスを溜めない」は、80歳代で5割と高くなっている。

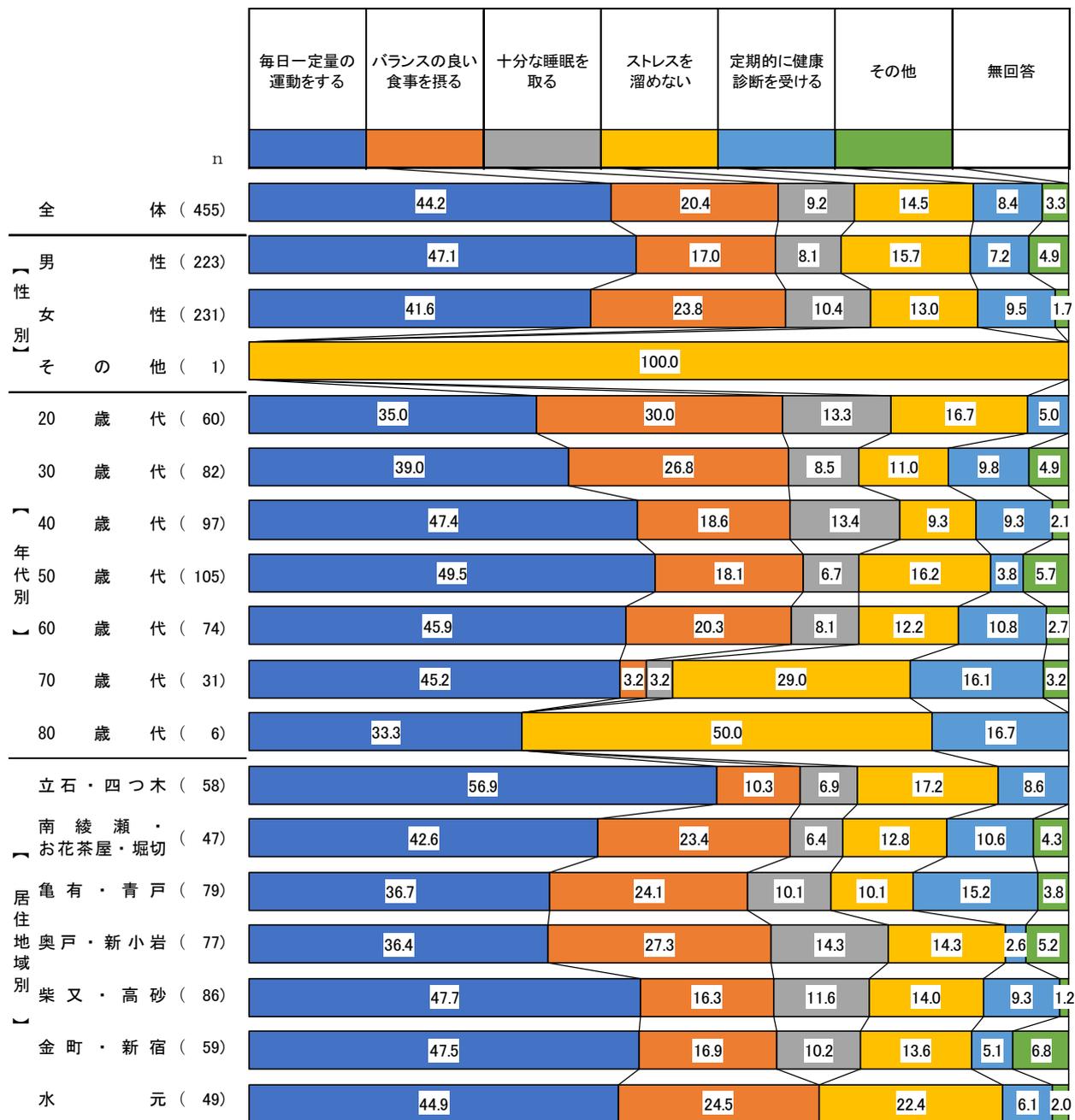
「その他」の内容としては、「健康で長生きするため、生活習慣病にならないための習慣」、「健康な時と、そうでない場合の数値的な差分を知る」、「病気の兆候に敏感になる」などがある。

図表-15 健康アプリの利用からどのような健康習慣を身につけたいか (全体)



図表-16 健康アプリの利用からどのような健康習慣を身につけたいか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(10) インセンティブ（動機）

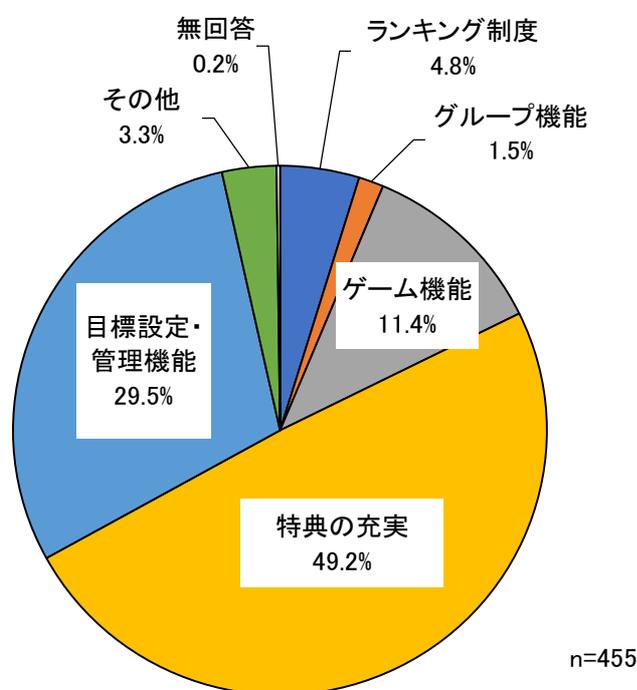
問 10 健康アプリの使用を継続する意欲の維持・向上に最も効果が高いものは何だと思えますか。（1つ選択）

継続する意欲の維持・向上に最も効果が高いものは何だと思うかについては、「特典の充実」が49.2%で最も高く、次いで「目標設定・管理機能」が29.5%、「ゲーム機能」が11.4%となっている。

年代別でみると、「特典の充実」は、70歳代以上を除く全ての年代で4割以上となっている。また、「目標設定・管理機能」は、80歳代で6割以上と高くなっている。

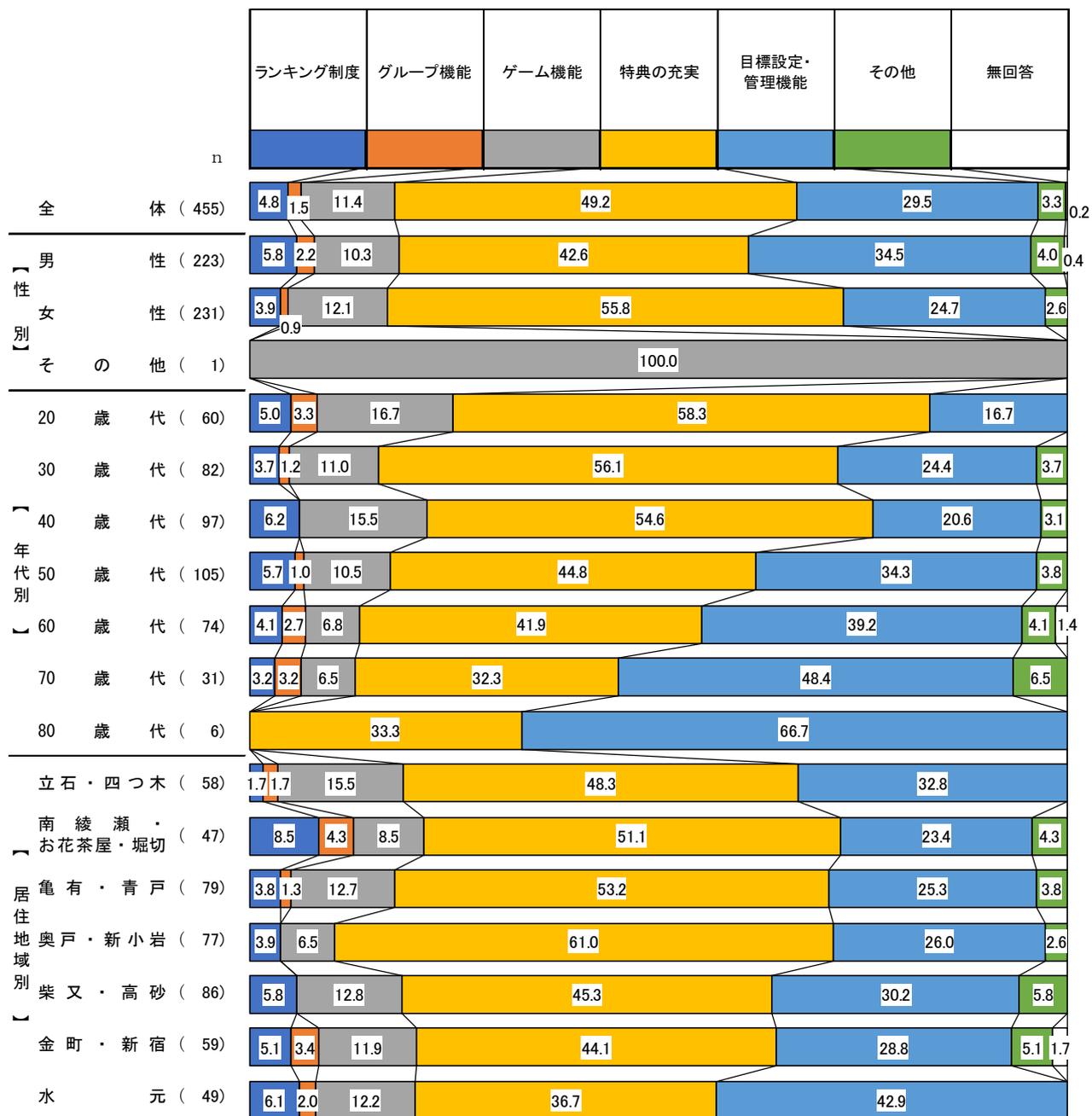
「その他」の内容としては、「日々の運動量の可視化」、「アドバイス機能」、「健康状態の可視化」、「定期検診などのリマインド機能」などがある。

図表-17 インセンティブ（動機）（全体）



図表-18 インセンティブ（動機）
（全体・性別・年代別・居住地域別）

(%)



(11) 貯めたポイントを交換したい主な特典は何か

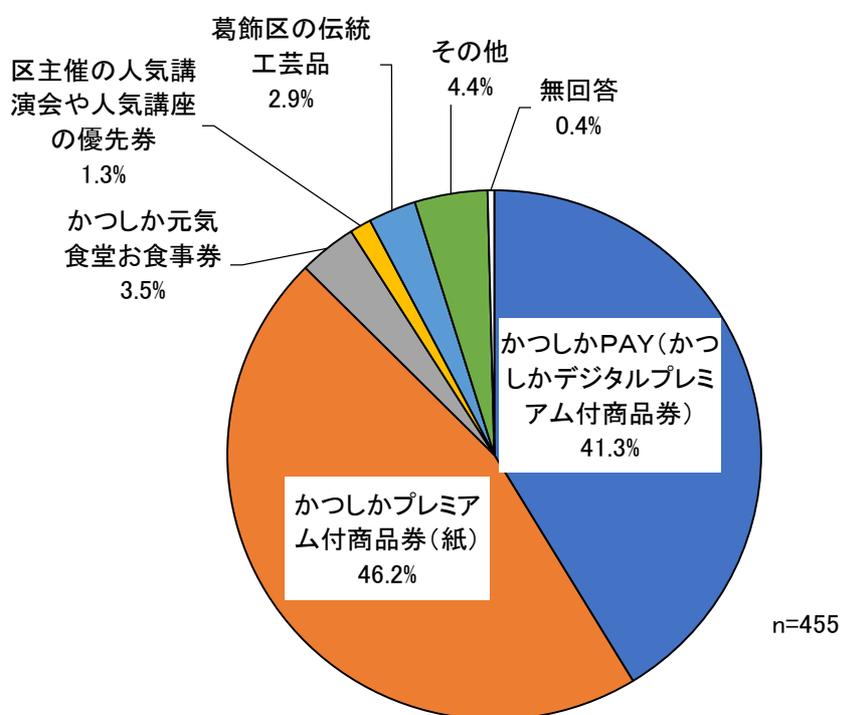
問 11 健康アプリで貯めたポイントを交換したい主な特典は何ですか。(1つ選択)

貯めたポイントを交換したい主な特典は何かについては、「かつしかプレミアム付商品券（紙）」が46.2%で最も高く、次いで「かつしかPAY（かつしかデジタルプレミアム付商品券）」が41.3%となっている。

年代別でみると、「かつしかプレミアム付商品券（紙）」は、60歳代から80歳代で5割以上となっている。また、「かつしかPAY（かつしかデジタルプレミアム付商品券）」は、20歳代から50歳代で4割以上となっている。

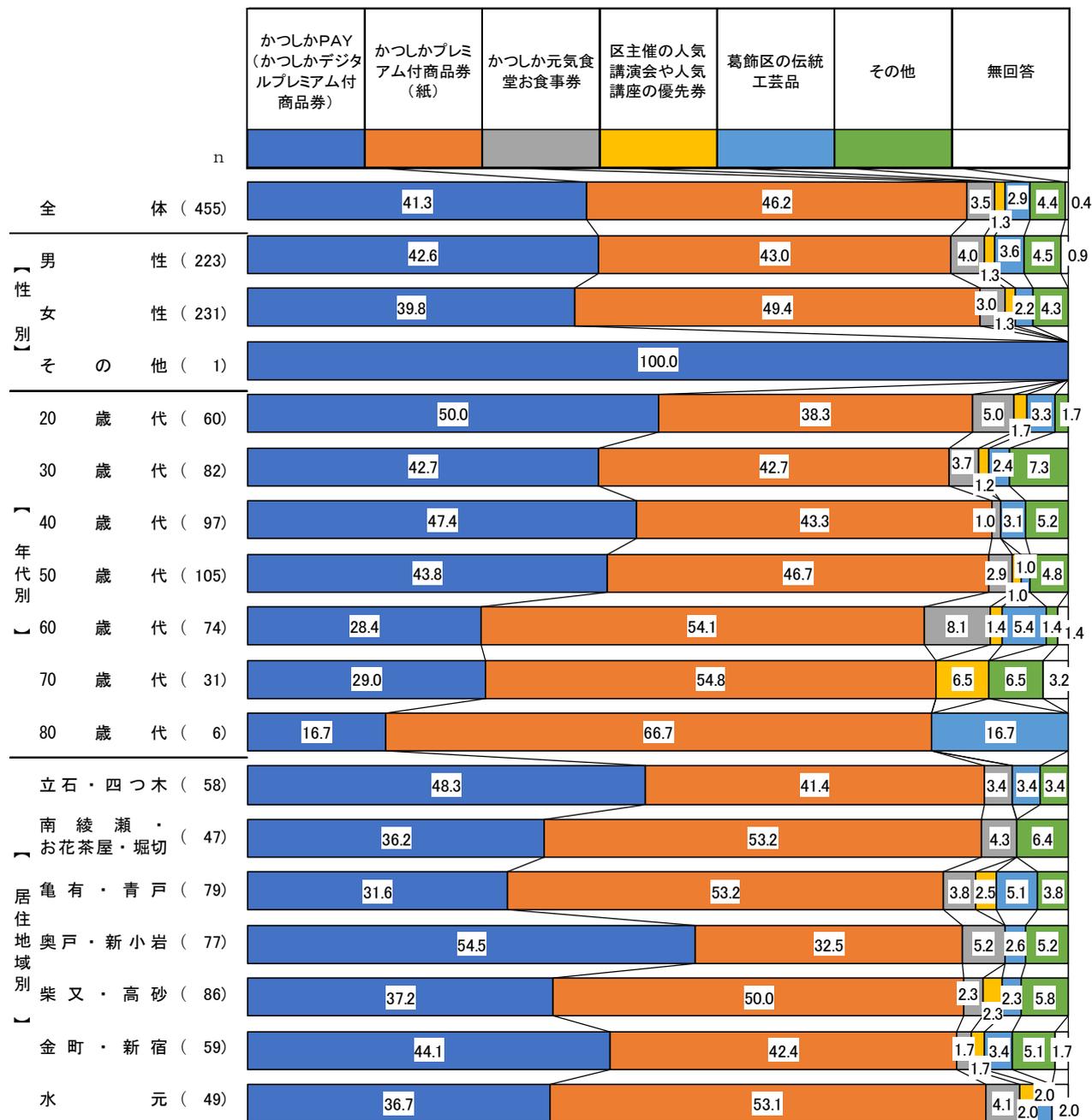
「その他」の内容としては、「多彩な運動施設の割引など」、「電子マネー」、「葛飾区内の商店が提供する特典への交換」、「民間企業のポイント」、「ポイントに興味が無い」などがある。

図表-19 貯めたポイントを交換したい主な特典は何か（全体）



図表-20 貯めたポイントを交換したい主な特典は何か
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(12) 健康アプリの機能

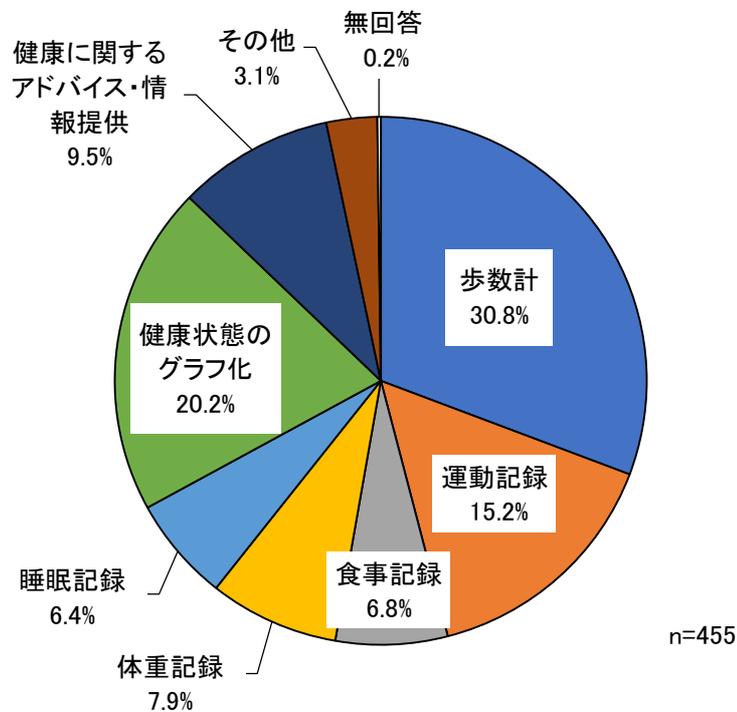
問 12 健康アプリに求める主な機能は何ですか。(1つ選択)

健康アプリに求める主な機能については、「歩数計」が30.8%で最も高く、次いで「健康状態のグラフ化」が20.2%、「運動記録」が15.2%となっている。

年代別でみると、「歩数計」は、70歳代で4割半ばと高くなっている。また、「睡眠記録」は、20歳代で18.3%と最も高くなっている

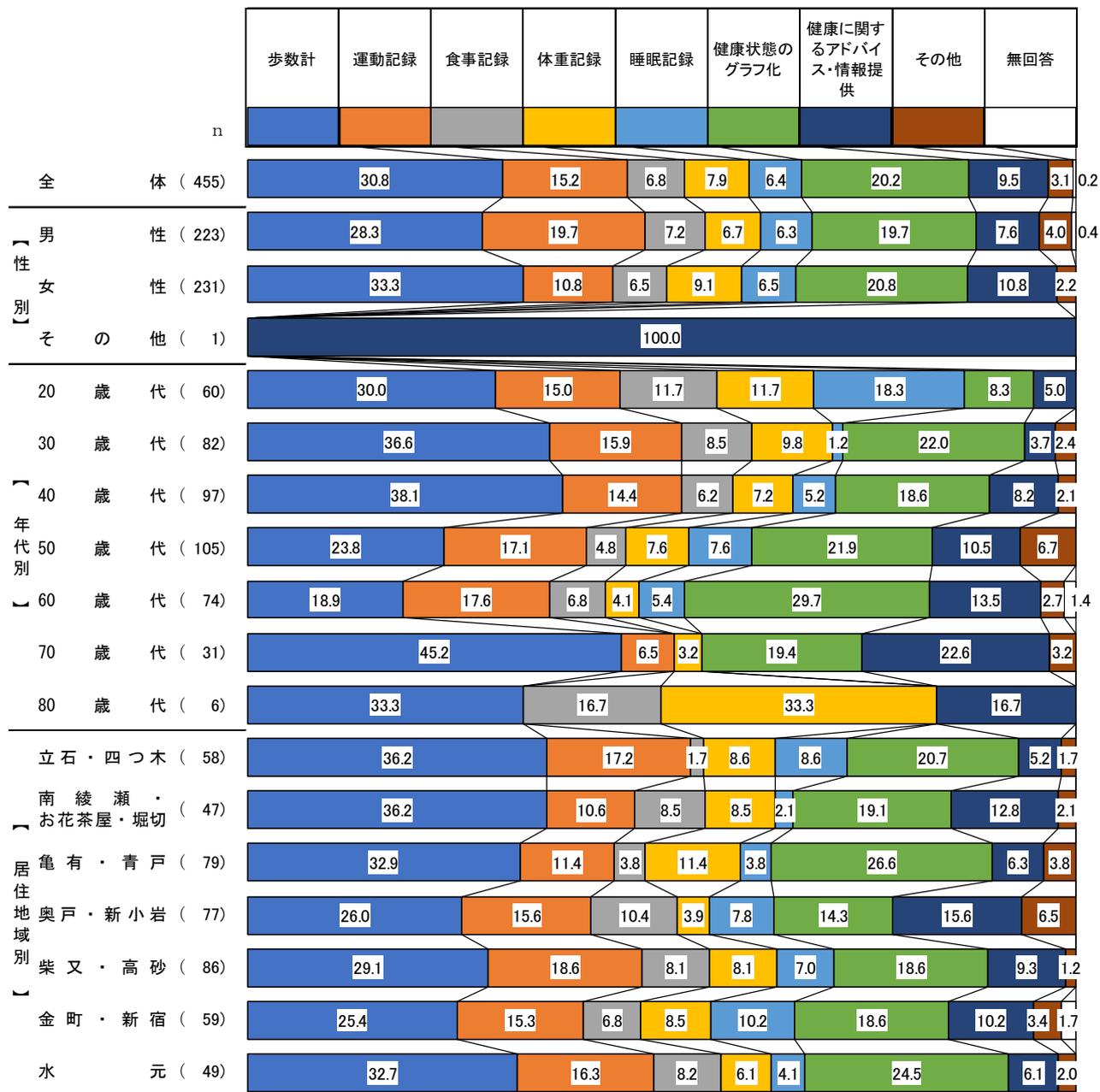
「その他」の内容としては、「お薬手帳」、「心拍数測定」、「毎朝体操みたいなアプリ」、「単一では無く、歩数、脈拍、血圧、身長体重、グラフ化等の複合的な機能」、「区内のおすすめウォーキングルート」などがある。

図表-21 健康アプリに求める主な機能（全体）



図表-22 健康アプリに求める主な機能
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



2. 区民との協働の街づくりについて

まちづくりは行政だけで進めていくことはできません。このため令和5年12月に策定した本区の総合的なまちづくりの方針「葛飾区都市計画マスタープラン」では、区民や事業者等、行政の3者が適切な役割分担を図りつつ、相互に連携、協力しながら目標とするまちづくりの実現を目指すパートナーシップ型まちづくりの考え方を掲げています。その実践として区が行う、区民等が主体の街づくり活動※への支援についてお伺いします。

※まちの課題解決に向けた建築物、道路、公園等のハード整備につながる地域主体の活動。
問13～問16について、区民等が主体の街づくり活動に意欲的な属性を把握し、助成メニューを検討する際の根拠としたいため伺います。

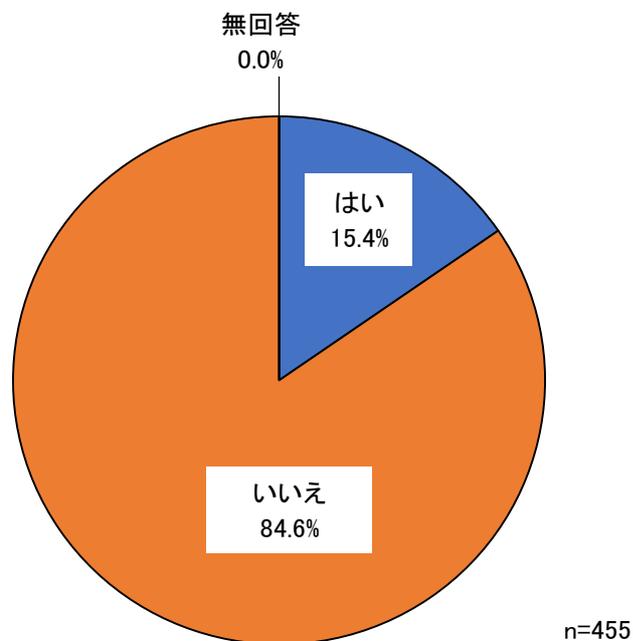
(13) 区内関係団体の所属の有無

問13 区内関係団体に所属していますか。(1つ選択)

※所属団体例(自治町会、消防団、協議会など)

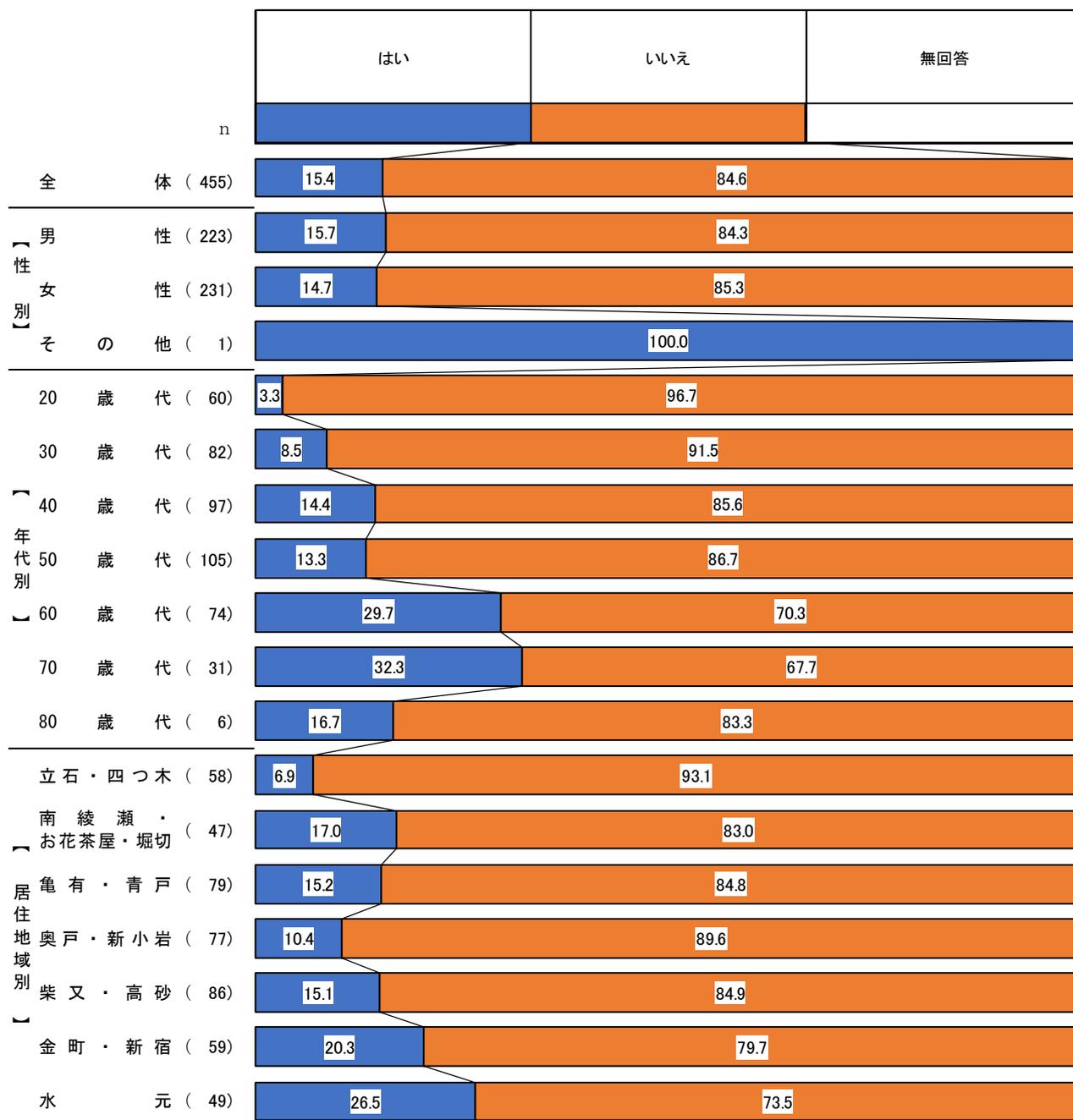
区内関係団体の所属の有無については、「はい」が15.4%、「いいえ」が84.6%となっている。年代別でみると、「はい」は、60歳代と70歳代で約3割となっている。一方、「いいえ」は、全ての年代で6割以上となっている。

図表-23 区内関係団体の所属の有無(全体)



図表-24 区内関係団体の所属の有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(14) 通勤／通学先の場所

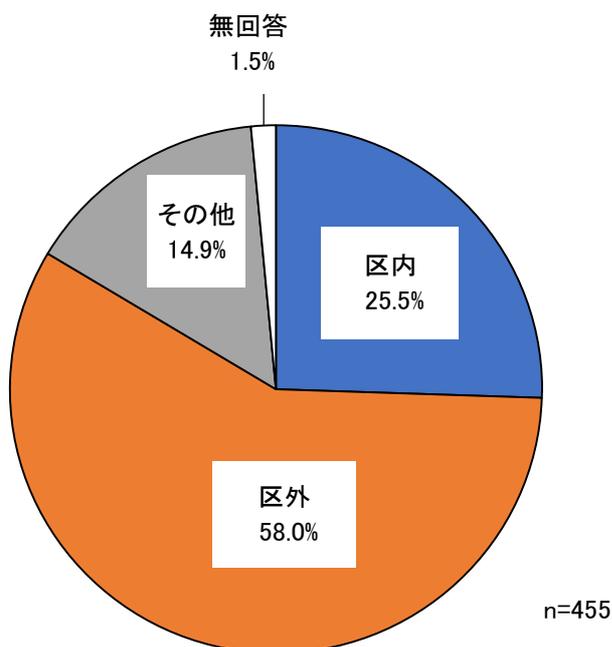
問 14 通勤/通学先の場所はどこですか。(1つ選択)

通勤/通学先の場所については、「区内」が25.5%、「区外」が58.0%となっている。

年代別でみると、「区内」は、50歳代と60歳代で約3割となっている。一方、「区外」は、60歳代以上を除く全ての年代で5割以上となっている。

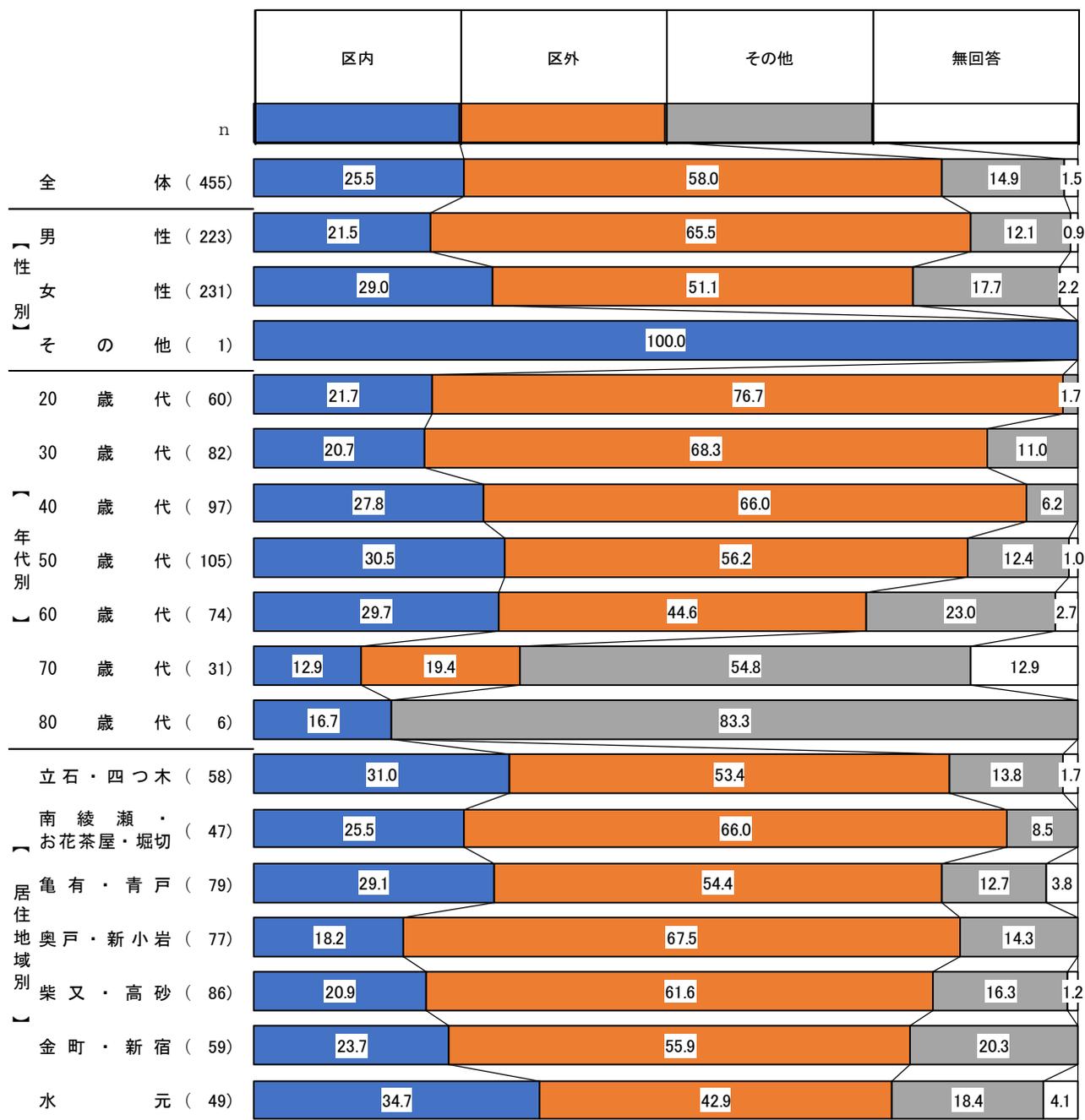
「その他」の内容としては、「通勤・通学なし」、「テレワーク」、「勤務地は様々」などがある。

図表-25 通勤/通学先の場所（全体）



図表-26 通勤/通学先の場所
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(15) 住まいの形式・所有形態

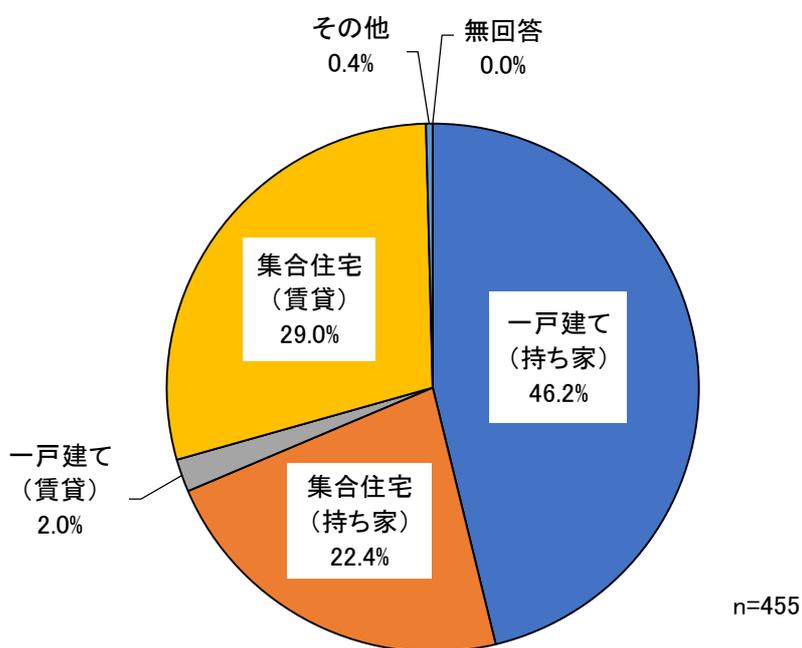
問 15 住まいの形式・所有形態は。(1つ選択)

住まいの形式・所有形態については、「一戸建て（持ち家）」が46.2%で最も高く、次いで「集合住宅（賃貸）」が29.0%、「集合住宅（持ち家）」が22.4%となっている。

年齢別にみると、「一戸建て（持ち家）」は、30歳代以下を除く全ての年代で4割以上となっている。また、「集合住宅（賃貸）」は、20歳代で58.3%と高くなっている。

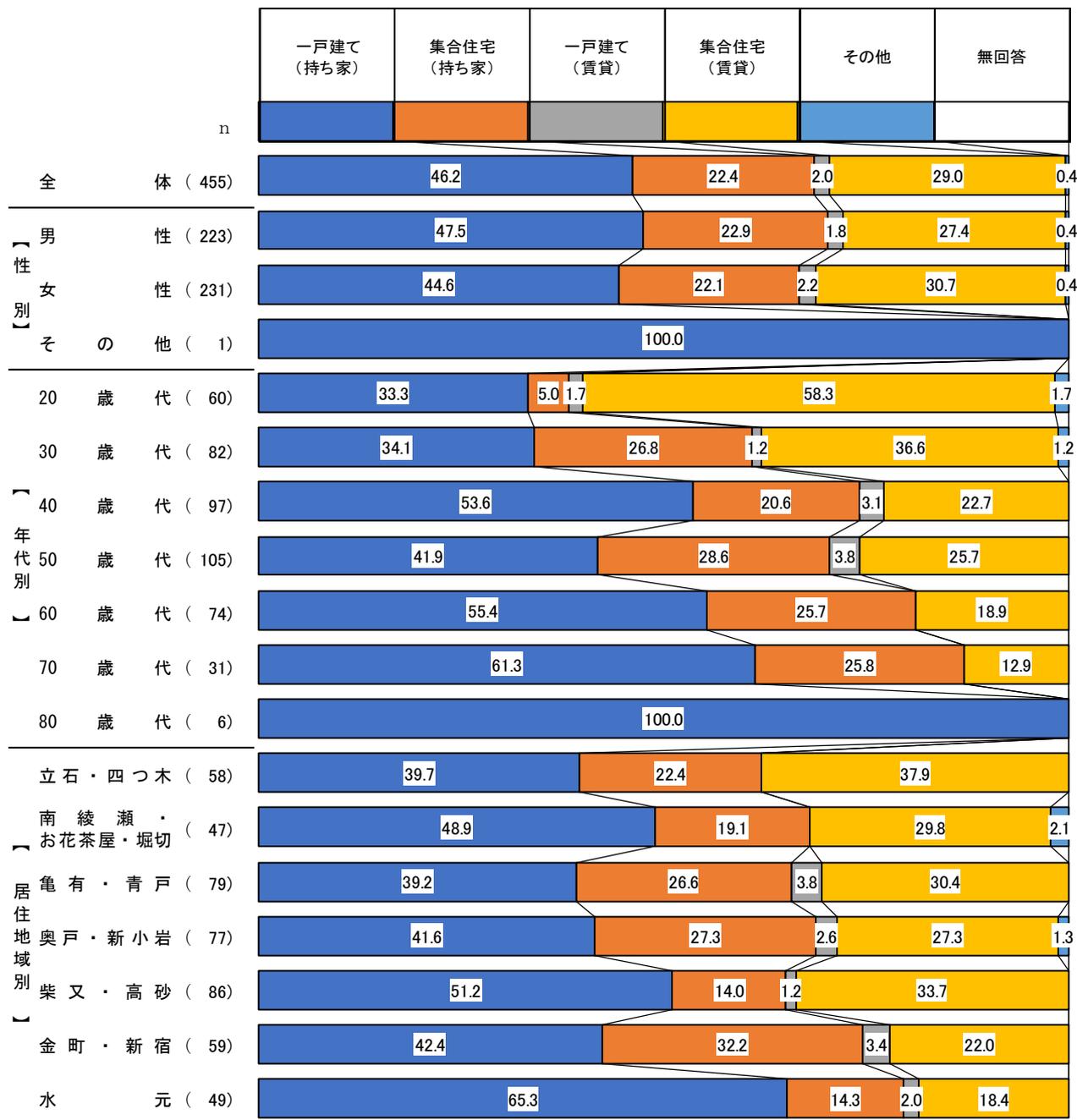
「その他」の内容としては、「マンション（親所有）」、「持ち家（実家）」などがある。

図表-27 住まいの形式・所有形態（全体）



図表-28 住まいの形式・所有形態
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



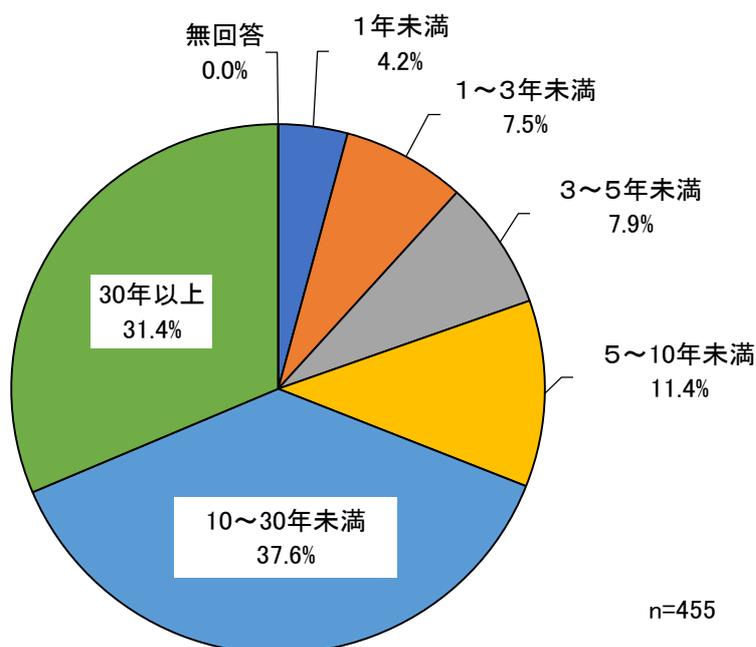
(16) 区内に住んでいる期間

問 16 区内に住んでいる期間は。(1つ選択)

区内に住んでいる期間については、「10～30年未満」が37.6%で最も高く、次いで「30年以上」が31.4%、「5～10年未満」が11.4%となっている。

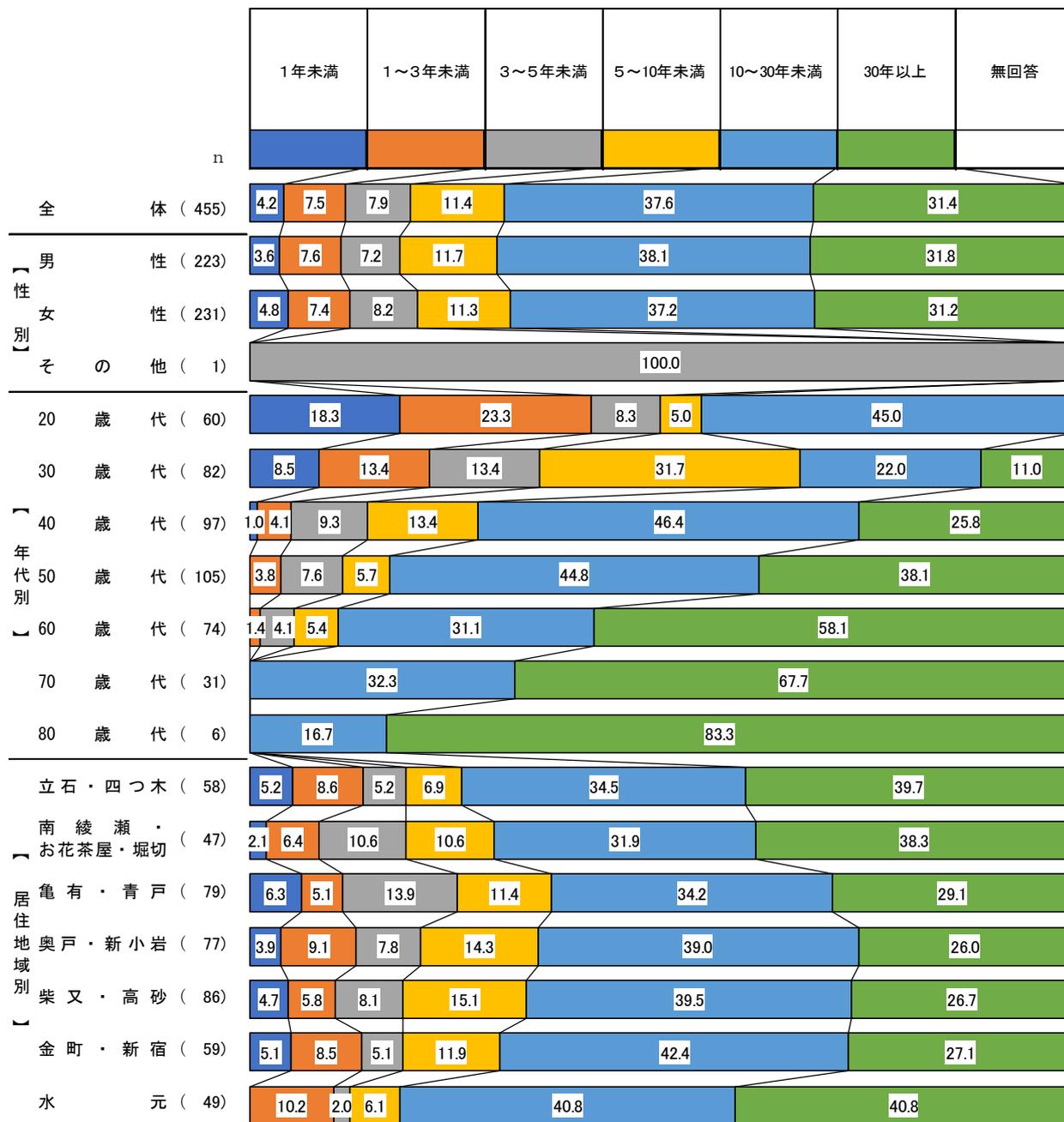
年齢別にみると、「30年以上」は、60歳代以降で5割以上となっている。一方、「1年未満」は、20歳代で2割弱と最も高くなっている。

図表-29 区内に住んでいる期間（全体）



図表-30 区内に住んでいる期間
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



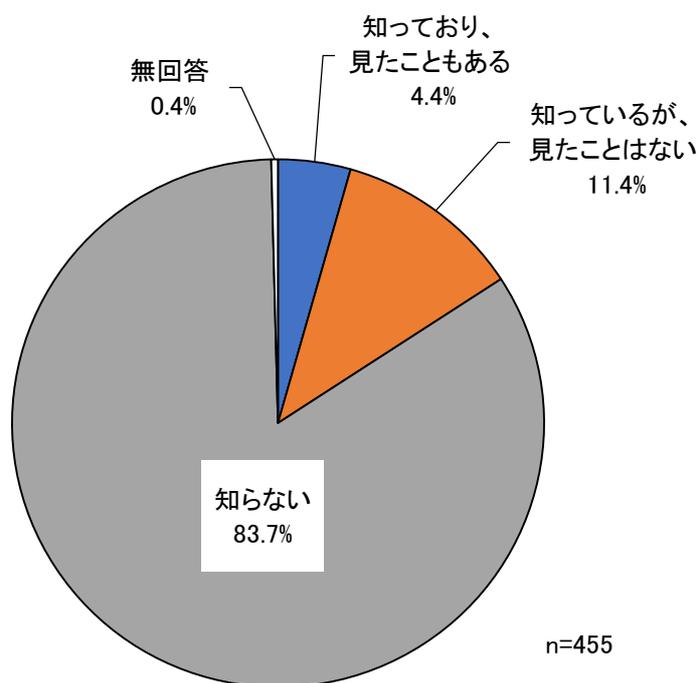
(17) 葛飾区都市計画マスタープランの認知度について

問 17 葛飾区都市計画マスタープランを知っていますか。(1つ選択)

葛飾区都市計画マスタープランの認知度については、「知らない」が83.7%で最も高く、次いで「知っているが、見たことはない」が11.4%、「知っており、見たこともある」が4.4%となっている。

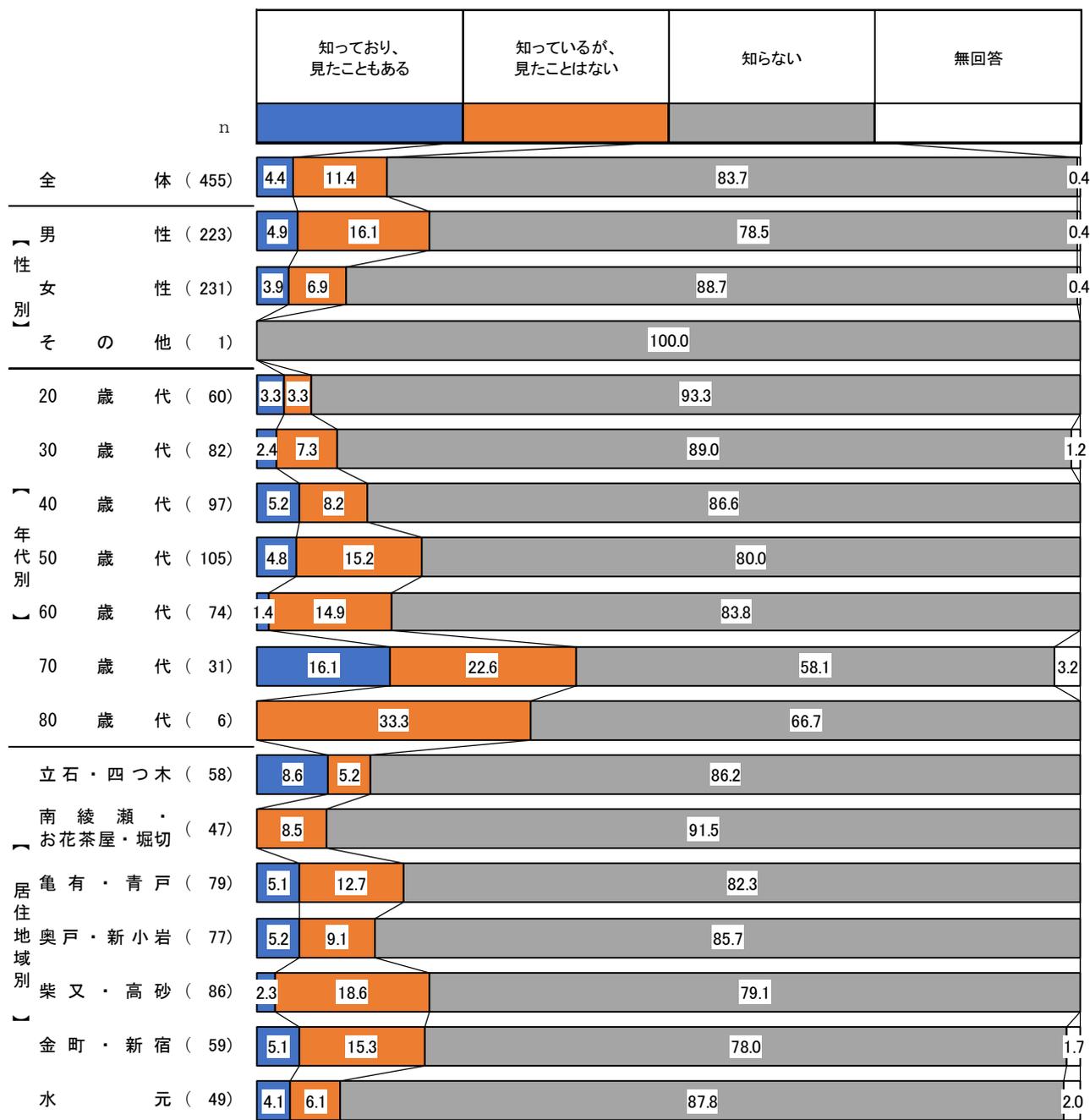
年代別でみると、「知っており、見たこともある」は、70歳代を除く全ての年代で1割以下となっている。また、「知らない」は、全ての年代で5割以上となっている。

図表-31 葛飾区都市計画マスタープランの認知度 (全体)



図表-32 葛飾区都市計画マスタープランの認知度
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(18) 葛飾区都市計画マスタープランを説明する動画の認知度

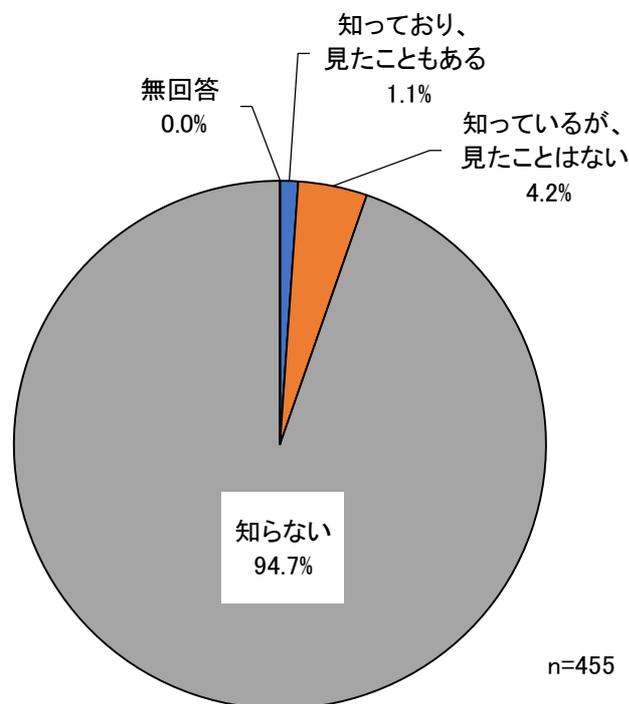
問 18 葛飾区都市計画マスタープランを説明する動画があることを知っていますか。

(1つ選択)

葛飾区都市計画マスタープランを説明する動画の認知度については、「知らない」が94.7%で最も高く、次いで「知っているが、見たことはない」が4.2%、「知っており、見たこともある」が1.1%となっている。

年代別でみると、「知っており、見たこともある」は、全ての年代で1割以下となっている。また、「知らない」は、全ての年代で8割以上と高くなっている。

図表-33 葛飾区都市計画マスタープランを説明する動画の認知度（全体）



【参考】

☆葛飾区都市計画マスタープラン プロモーション動画

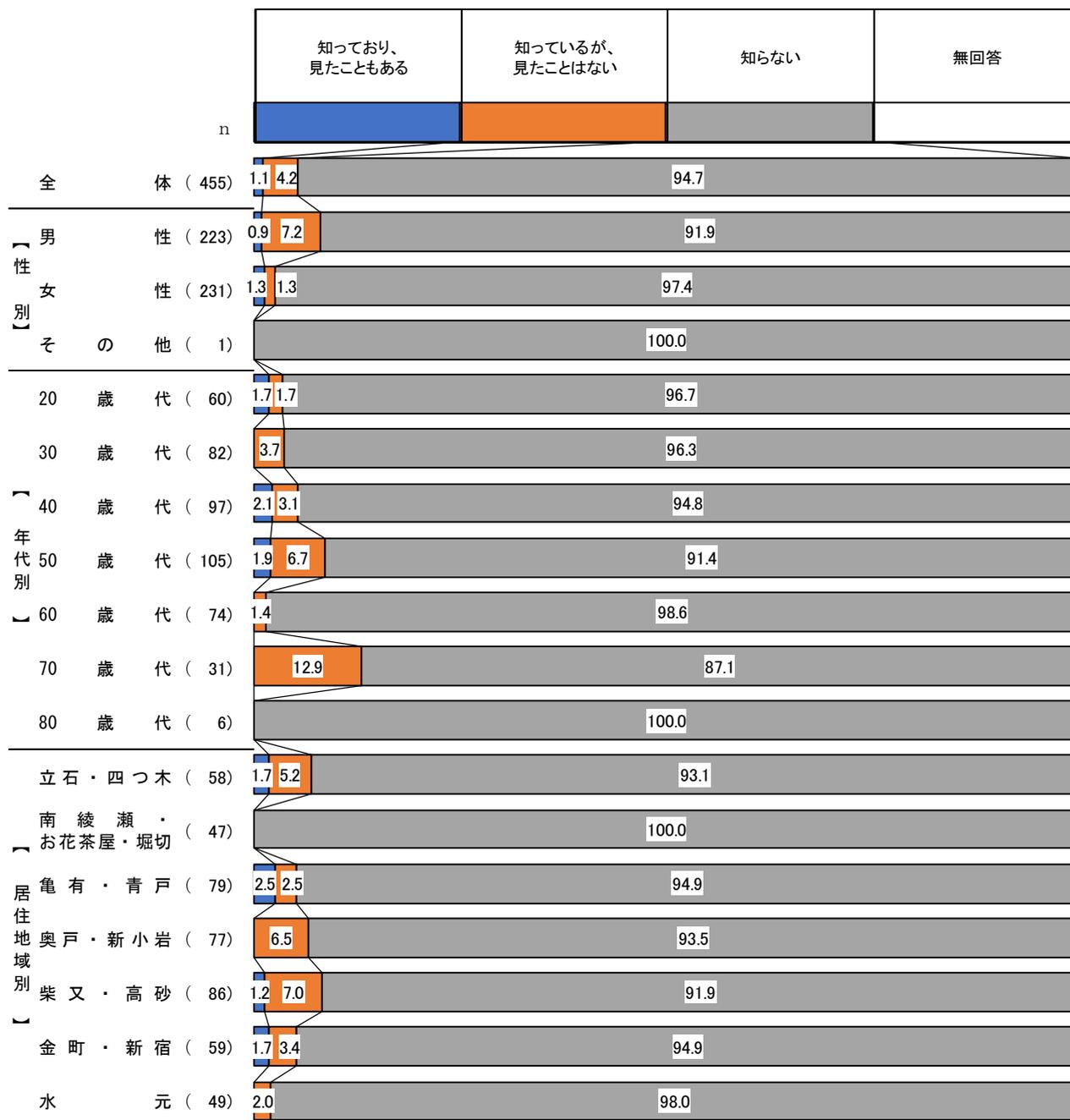
<https://www.youtube.com/watch?v=mv405ptqRM8>

☆葛飾区都市計画マスタープラン 説明動画

<https://www.youtube.com/watch?v=56Tqa5T116w>

図表-34 葛飾区都市計画マスタープランを説明する動画の認知度
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(19) 葛飾区都市計画マスタープランの周知方法

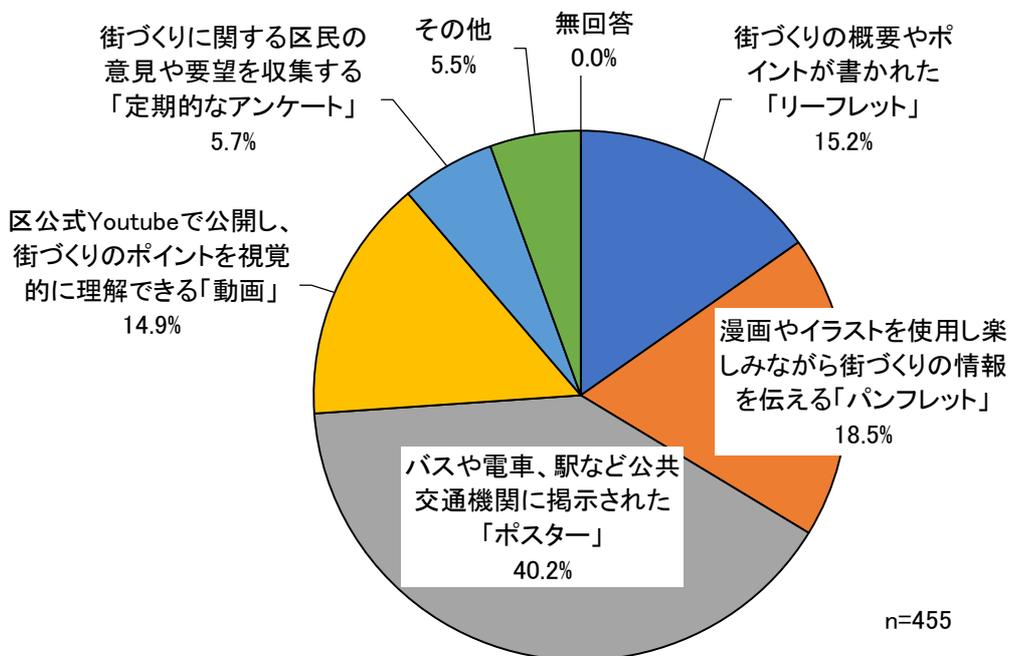
問 19 葛飾区都市計画マスタープランの周知方法として、関心を引きやすいと思うものを教えてください。(1つ選択)

葛飾区都市計画マスタープランの周知方法については、「バスや電車、駅など公共交通機関に掲示された「ポスター」が40.2%で最も高く、次いで「漫画やイラストを使用し楽しみながら街づくりの情報を伝える「パンフレット」が18.5%となっている。

年代別でみると、「バスや電車、駅など公共交通機関に掲示された「ポスター」は、60歳代以降を除く全ての年代で4割以上となっている。また、「漫画やイラストを使用し楽しみながら街づくりの情報を伝える「パンフレット」は、70歳代以上で3割以上と高くなっている。

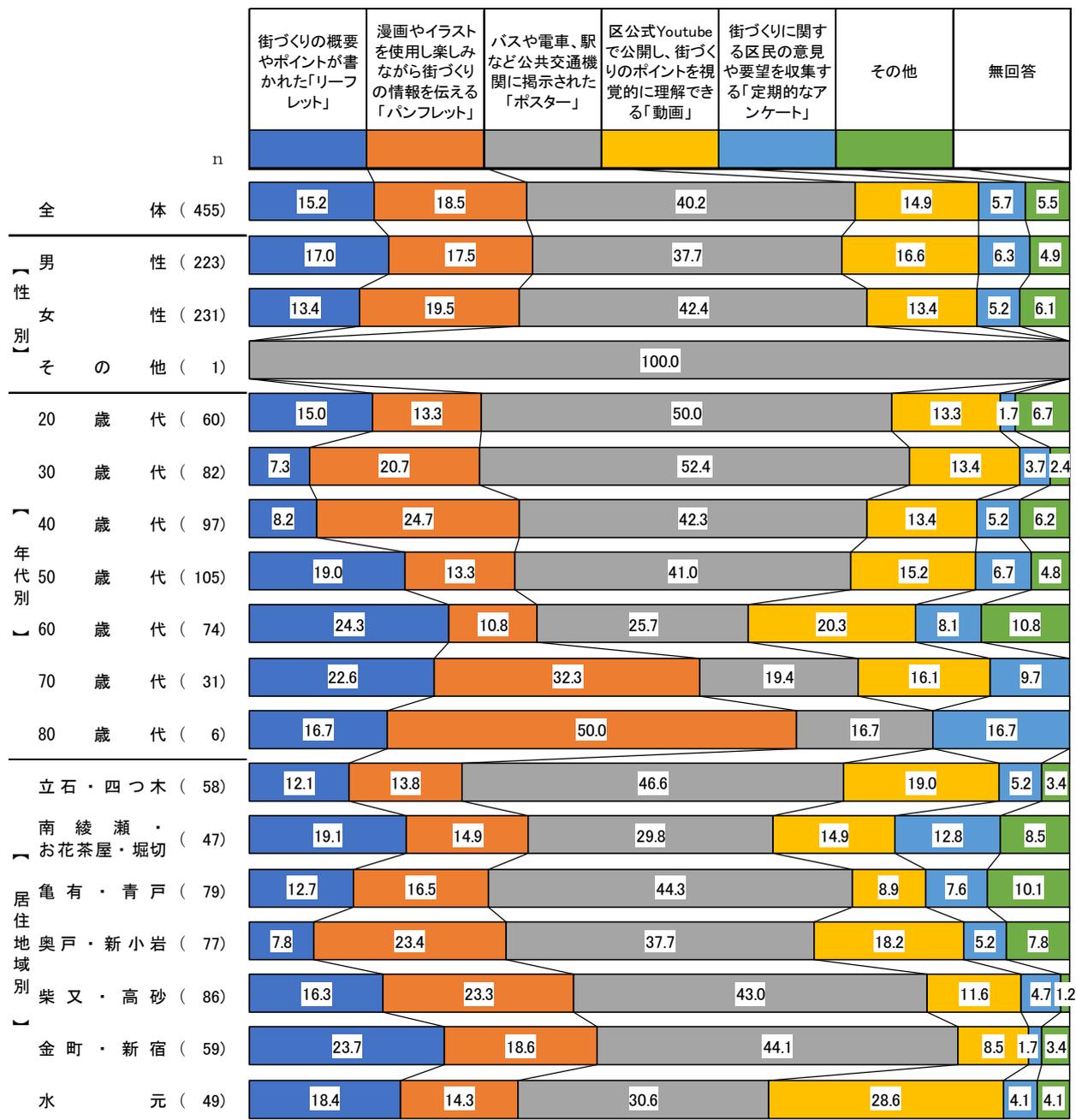
「その他」の内容としては、「広報かつしか等の区報」、「SNS」、「チラシの投函」、「看板の設置」などがある。

図表-35 葛飾区都市計画マスタープランの周知方法（全体）



図表-36 葛飾区都市計画マスタープランの周知方法
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



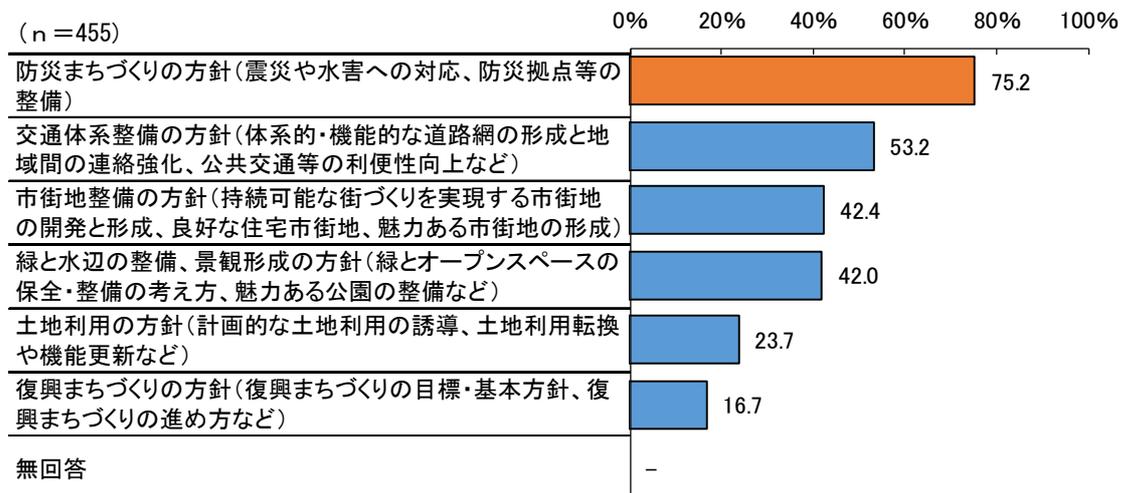
(20) 都市計画マスタープランにおける6つの方針の重要度について

問 20 葛飾区都市計画マスタープランにおける下記の6つの方針について、重要な方針と思うものを教えてください。(あてはまるものすべて選択)

都市計画マスタープランにおける6つの方針の重要度については、「防災まちづくりの方針（震災や水害への対応、防災拠点等の整備）」が75.2%で最も高く、次いで「交通体系整備の方針（体系的・機能的な道路網の形成と地域間の連絡強化、公共交通等の利便性向上など）」が53.2%となっている。

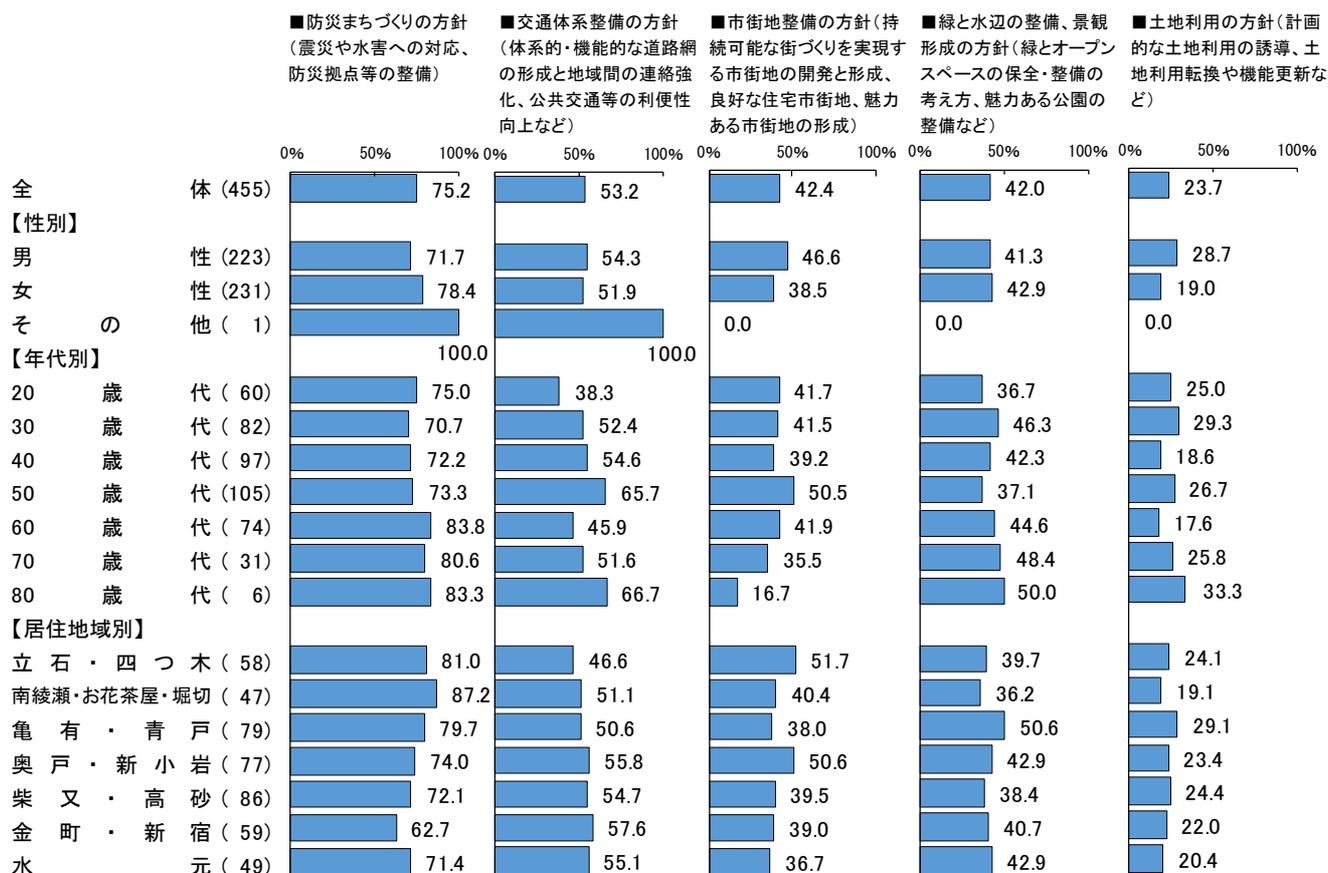
年代別にみると、「防災まちづくりの方針（震災や水害への対応、防災拠点等の整備）」は、全ての年代で7割以上となっている。また、「交通体系整備の方針（体系的・機能的な道路網の形成と地域間の連絡強化、公共交通等の利便性向上など）」は、50歳代と80歳代で6割以上と高くなっている。

図表-37 都市計画マスタープランにおける6つの方針の重要度について（全体）

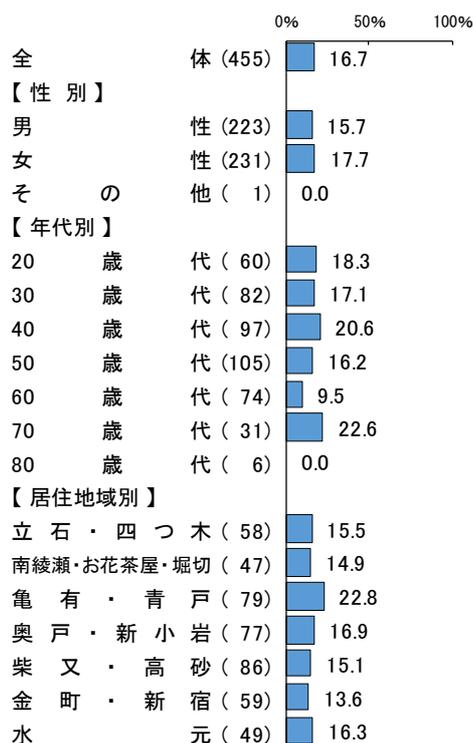


図表-38 都市計画マスタープランにおける6つの方針の重要度について

(全体・性別・年代別・居住地域別)



■復興まちづくりの方針
(復興まちづくりの目標・基本方針、復興まちづくりの進め方など)



(21) 地域のまちの課題について

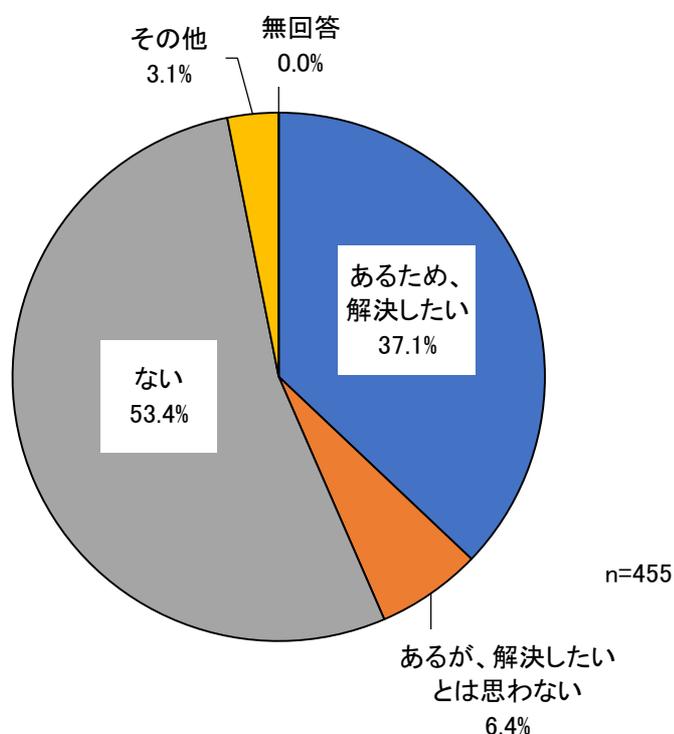
問 21 地域のまちの課題について、あなたがお住まいの地域に解決したいまちの課題はありますか。(1つ選択)

お住まいの地域に解決したいまちの課題については、「ない」が53.4%で最も高く、次いで「あるため、解決したい」が37.1%となっている。

年代別で見ると、「ない」は、全ての年代で5割以上となっている。一方、「あるが、解決したいとは思わない」は、20歳代と80歳代を除く全ての年代で1割未満となっている。

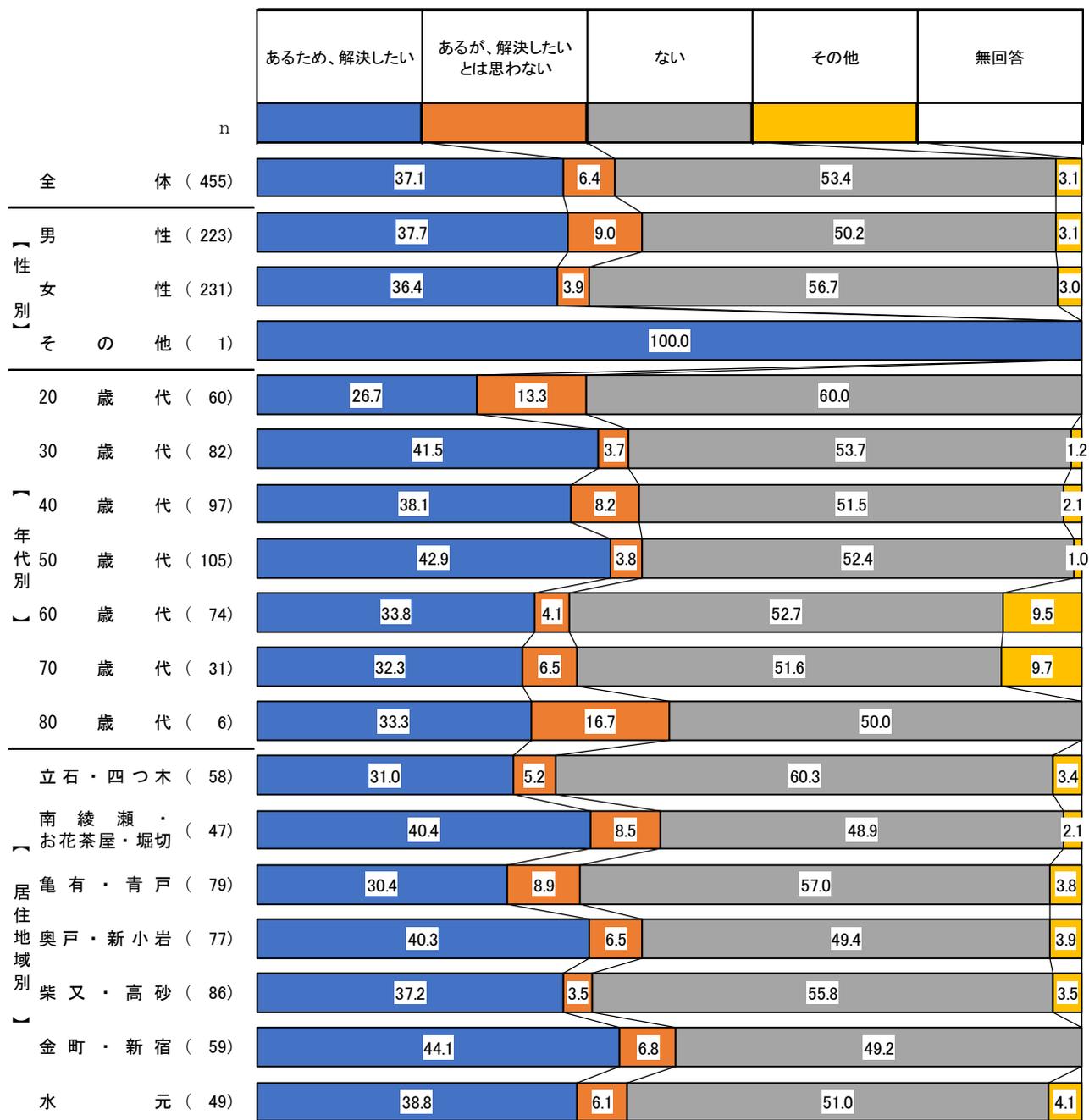
「その他」の内容としては、「あるが、すぐに解決できると思わない」、「過去にあったが、今はない」、「まだ住み始めて浅いため、分からない」などがある。

図表-39 地域のまちの課題について (全体)



図表-40 地域のまちの課題について
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(22) どのような課題か

問 22 問 21 で選択肢 1 「あるため、解決したい」・ 2 「あるが、解決したいとは思わない」と答えた方に伺います。

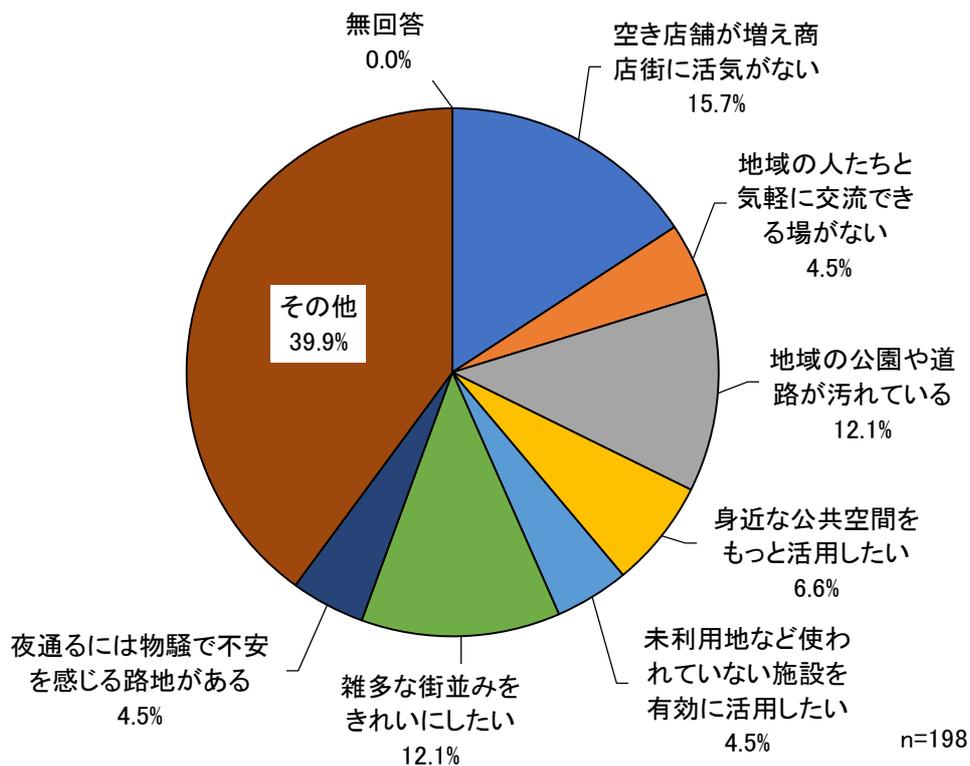
どのような課題ですか。(1つ選択)

どのような課題かについては、「空き店舗が増え商店街に活気がない」が 15.7%で最も高く、次いで「地域の公園や道路が汚れている」、「雑多な街並みをきれいにしたい」がいずれも 12.1%となっている。

年代別でみると、「空き店舗が増え商店街に活気がない」は、60 歳代で 2 割以上となっている。また、「雑多な街並みをきれいにしたい」は、70 歳代以降で 2 割以上となっている。

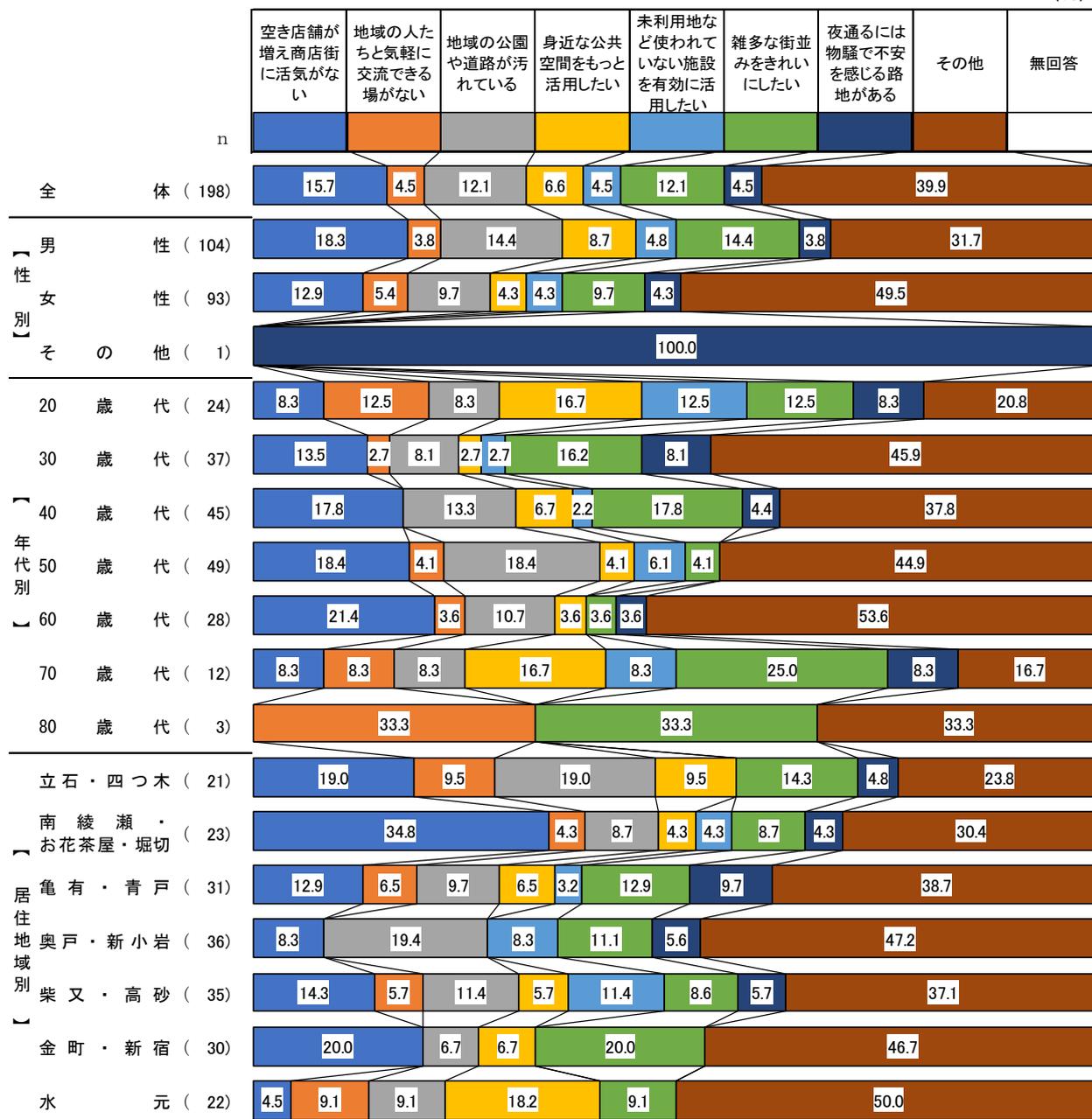
「その他」の内容としては、「ゴミのポイ捨てや不法投棄、ゴミの分別がされていない」、「公園が少なく、利用する際の制限がある」、「自転車のマナーや駐輪する場所」、「災害時の避難経路の確保」、「夜間の騒音」、「路上喫煙、喫煙マナー」などがある。

図表-41 どのような課題か (全体)



図表-42 どのような課題か
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(23) 相談できる仲間や発信できる場の有無

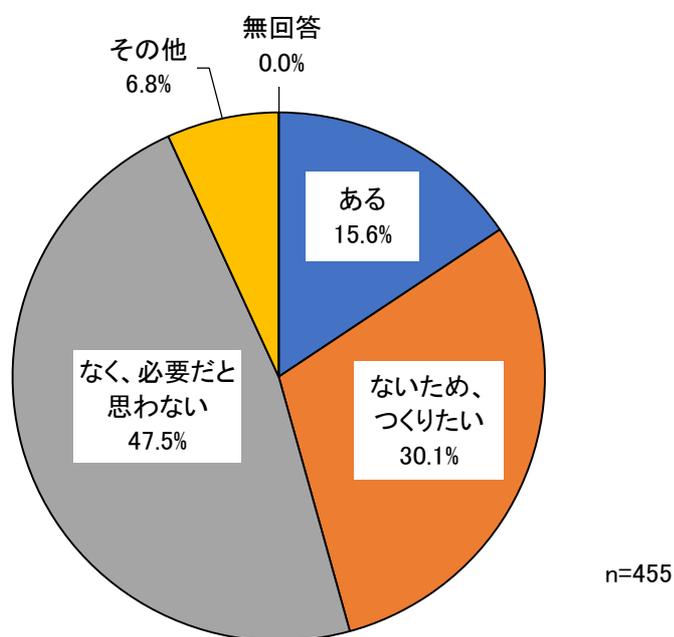
問 23 まちの課題について相談できる仲間や発信できる場はありますか。(1つ選択)

相談できる仲間や発信できる場の有無については、「なく、必要だと思わない」が47.5%で最も高く、次いで「ないため、つくりたい」が30.1%、「ある」が15.6%となっている。

年代別にみると、「なく、必要だと思わない」は、80歳代を除く全ての年代で3割以上となっている。

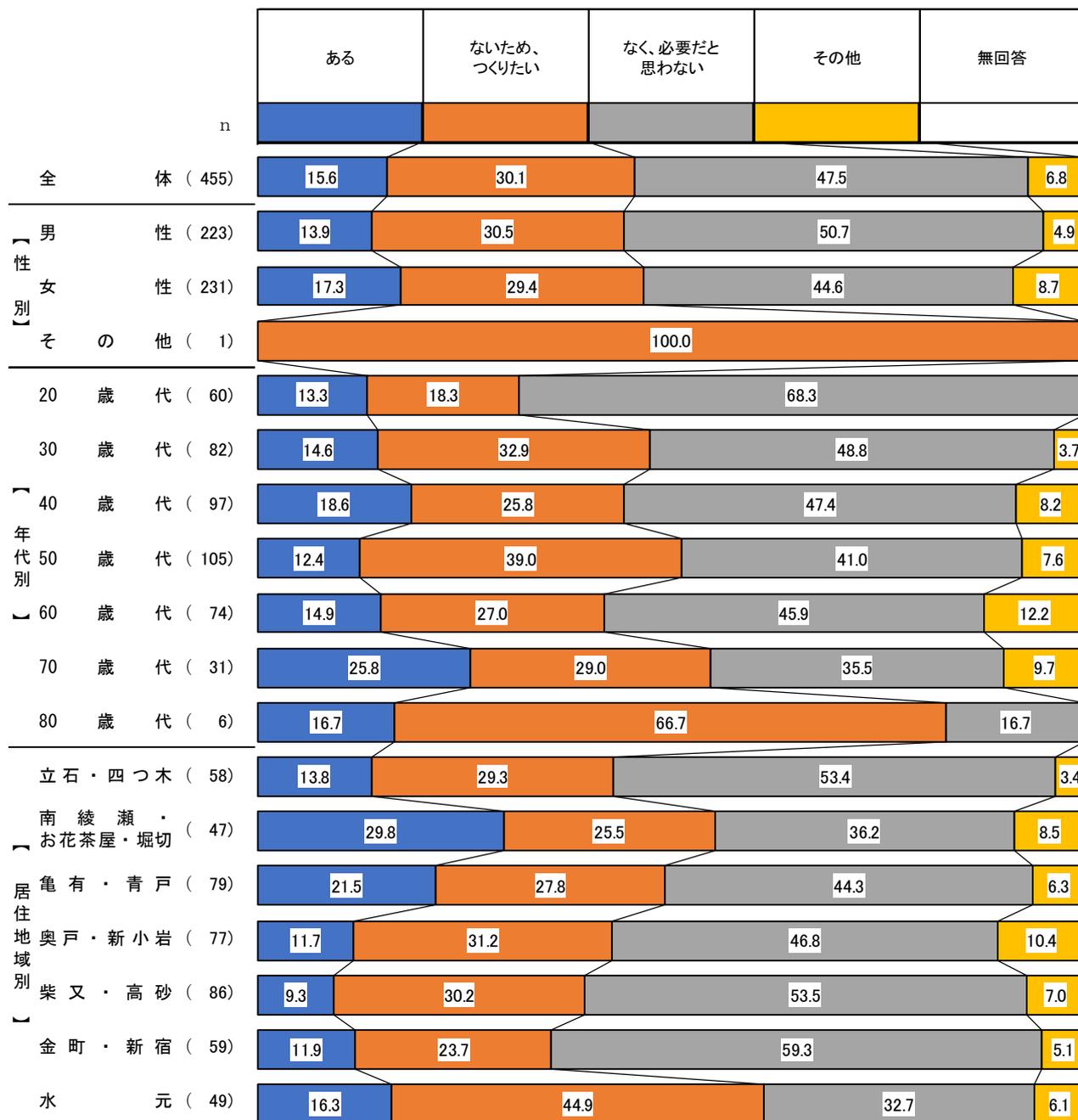
「その他」の内容としては、「ない。あったほうが良いと思うが、自分から何かしようとは思わない」、「区役所に相談できる窓口があれば良いと思う」などがある。

図表-43 相談できる仲間や発信できる場の有無（全体）



図表-44 相談できる仲間や発信できる場の有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(24) 相談できる仲間や発信できる場について

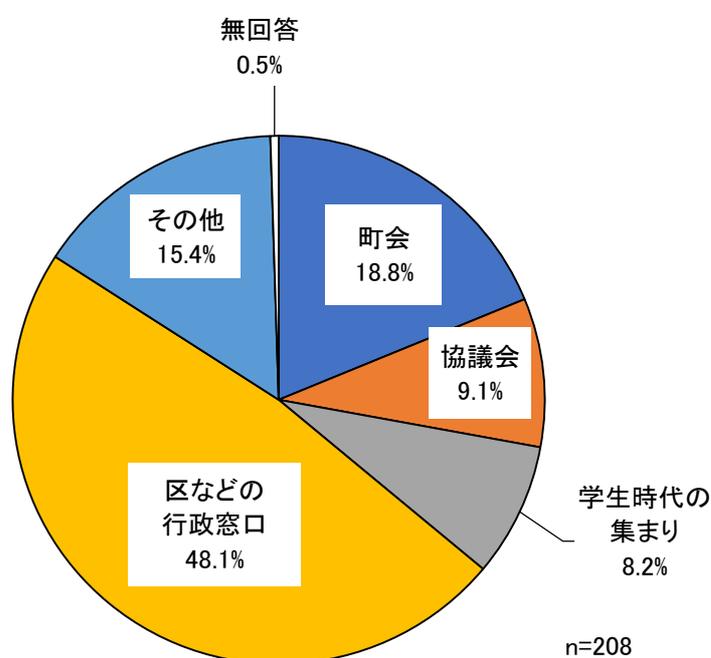
問 24 問 23 で選択肢 1 「ある」・ 2 「ないため、つくりたい」と答えた方に伺います。
あなたが考える、相談できる仲間や発信できる場とはどのようなところですか。(1つ選択)

相談できる仲間や発信できる場については、「区などの行政窓口」が 48.1%で最も高く、次いで「町会」が 18.8%、「協議会」が 9.1%、「学生時代の集まり」が 8.2%となっている。

年代別にみると、「区などの行政窓口」は、80 歳代を除く全ての年代で 4 割以上となっている。また、「町会」は、80 歳代で 6 割と高くなっている。

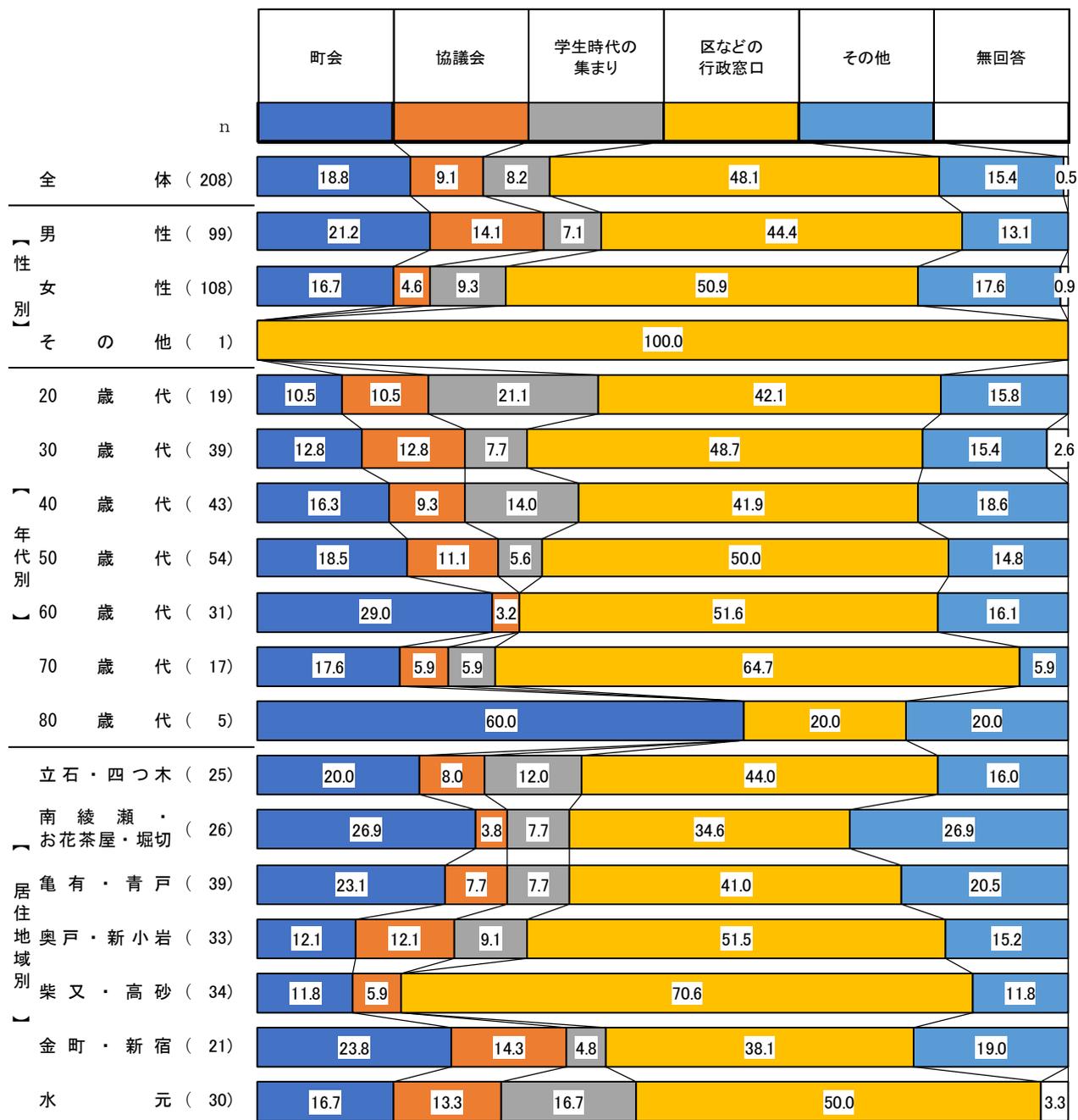
「その他」の内容としては、「インターネット上での会議、意見交換の場」、「行政ではなく、気軽に話せる交流会が定期的であればいい」、「職場や社会人サークル」などがある。

図表－45 相談できる仲間や発信できる場について（全体）



図表-46 相談できる仲間や発信できる場について
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



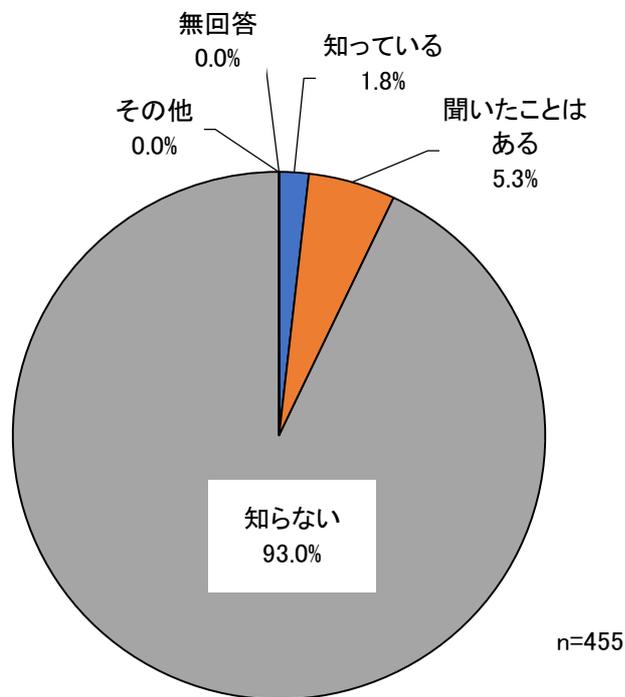
(25) 葛飾区区民参加による街づくり推進条例について

問 25 住民等 10 人以上が集まり、まちの課題解決に向け、建築物、道路、公園等に係る整備計画（街づくり計画）を作成する活動を支援する制度（葛飾区区民参加による街づくり推進条例）をご存じですか。（1つ選択）

葛飾区区民参加による街づくり推進条例の認知度については、「知らない」が 93.0%で最も高く、次いで「聞いたことはある」が 5.3%、「知っている」が 1.8%となっている。

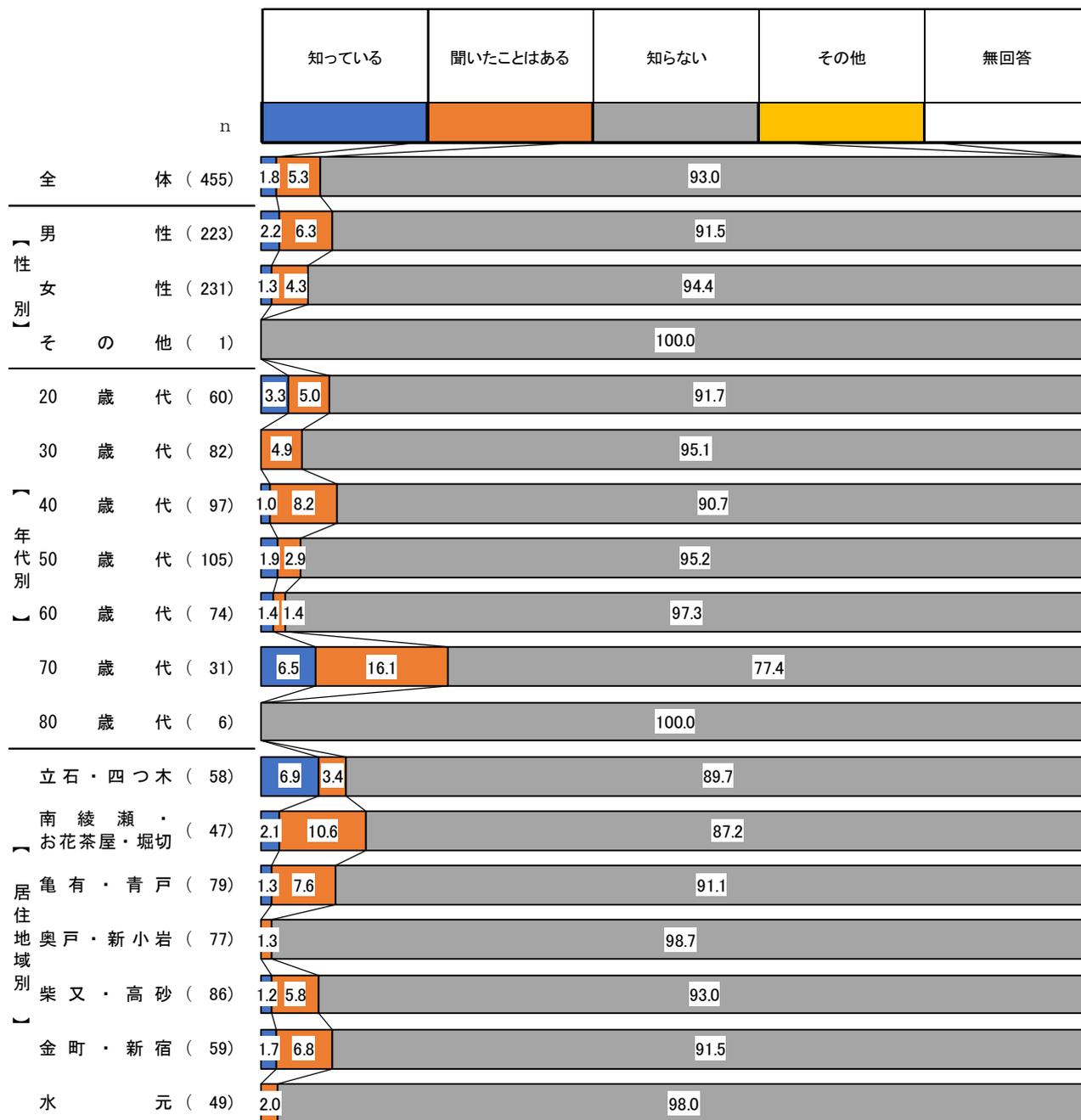
年代別でみると、「知らない」は、70 歳代を除く全ての年代で 9 割以上となっている。

図表-47 葛飾区区民参加による街づくり推進条例の認知度（全体）



図表-48 葛飾区区民参加による街づくり推進条例の認知度
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(26) 街づくり活動への参加について

問 26 あなたは、以下の街づくり活動を1つでも行ったことがありますか。あるいは、行いたいと思いますか。(1つ選択)

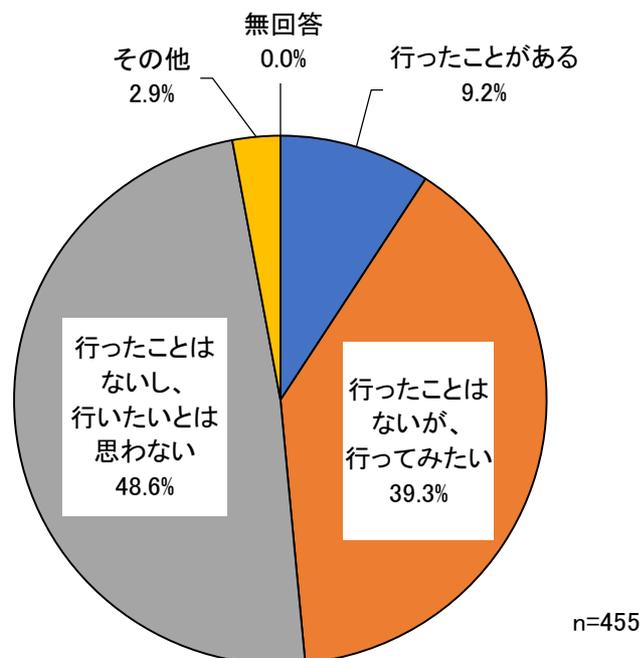
- ・地域の良いところや危険な場所などを調査する「まち歩き」
- ・地域のおすすめ情報や街づくり活動状況の発信による「仲間づくり」
- ・地域の公園や広場などの清掃や花の手入れなどを行う「環境整備」
- ・公共空間などで防災訓練やイベント活動などを行う「公共的空間の活用」
- ・空き店舗や空き家、農地の有効活用などを行う「施設再生」
- ・道路境界部分に植樹・生垣等で緑化する「街並みルールづくり」
- ・私道の街路灯整備や防犯カメラの設置などを行う「施設整備」

街づくり活動への参加については、「行ったことはないし、行いたいとは思わない」が48.6%で最も高く、次いで「行ったことはないが、行ってみたい」が39.3%、「行ったことがある」が9.2%となっている。

年代別でみると、「行ったことはないし、行いたいとは思わない」は、50歳代と70歳代を除く全ての年代で5割以上となっている。一方、「行ったことがある」は、70歳代以上が2割近くと高くなっている。

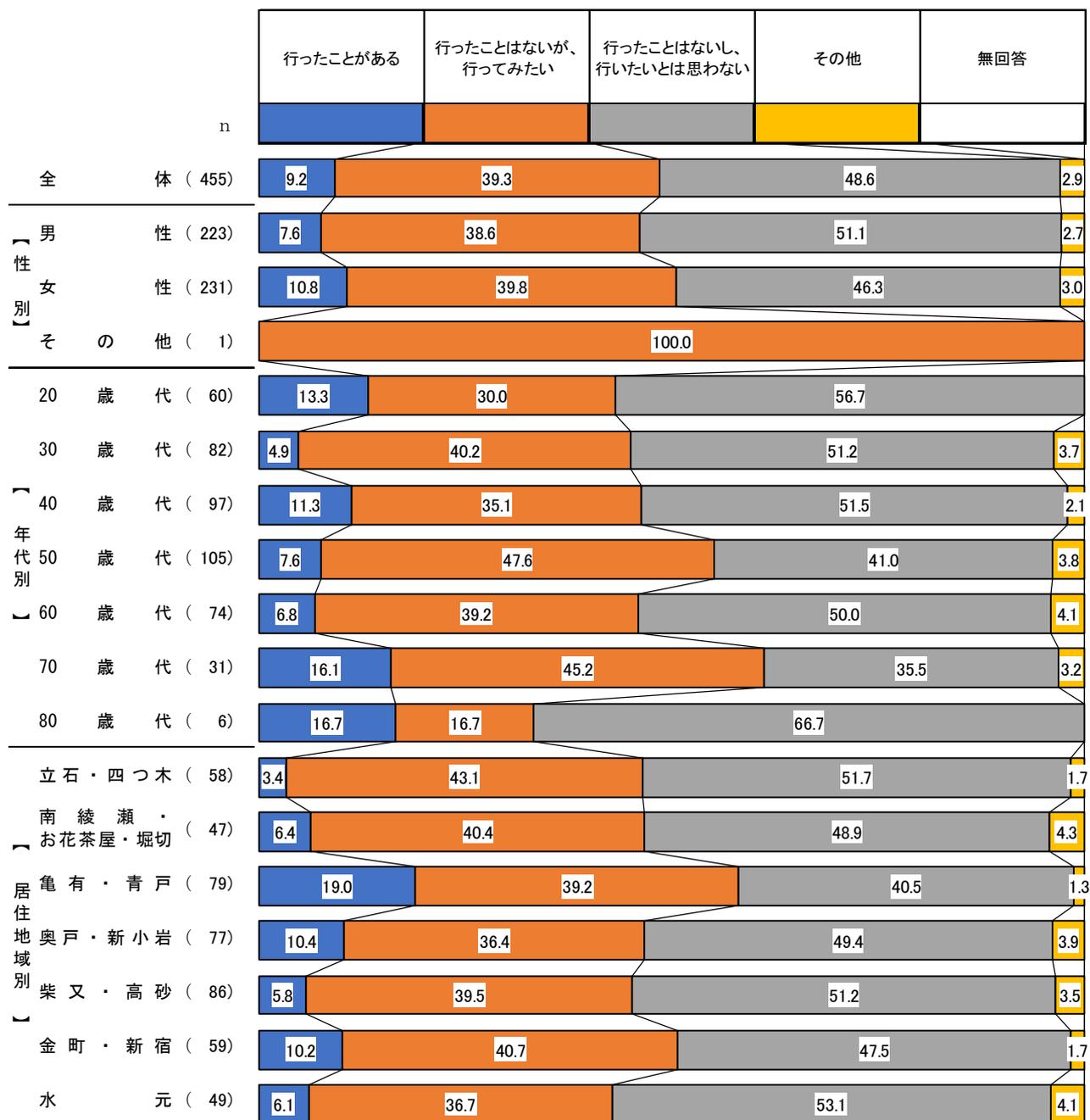
「その他」の内容としては、「興味はあるが、実態や活動状況がわからない」、「行ったことはないが、考える必要はあると思う」、「関心はあるが、時間等に余裕が無い」などがある。

図表-49 街づくり活動への参加について（全体）



図表-50 街づくり活動への参加について
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



(27) 街づくり活動とはどのような活動か

問 27 問 26 で選択肢 1「行ったことがある」・2「行ったことはないが、行ってみたい」と答えた方に伺います。

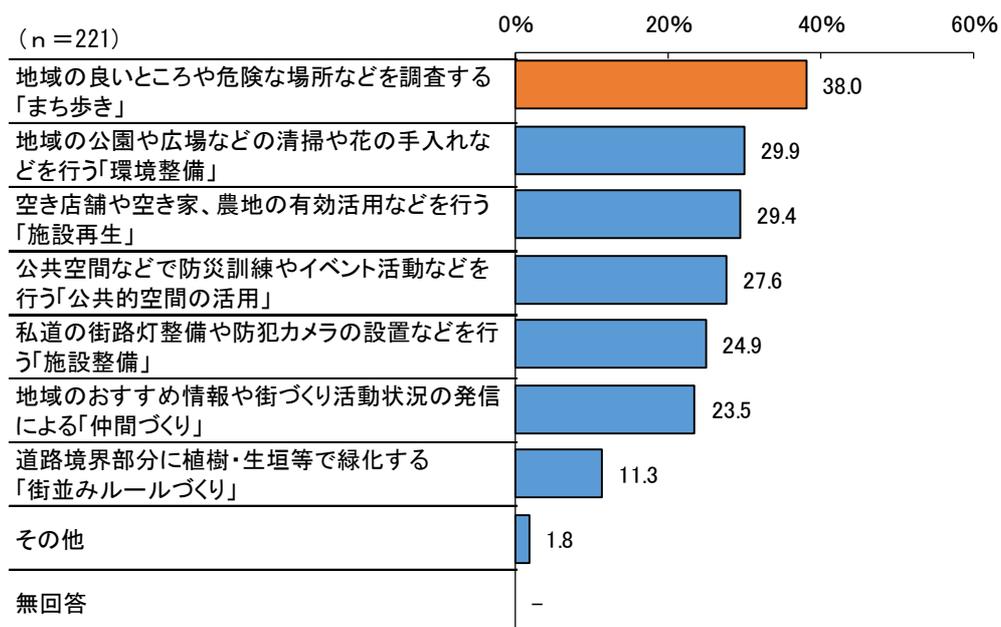
どのような活動ですか。(あてはまるものすべて選択)

どのような街づくり活動を行ったことがある、または行ってみたいかについては、「地域の良いところや危険な場所などを調査する「まち歩き」」が 38.0%で最も高く、次いで「地域の公園や広場などの清掃や花の手入れなどを行う「環境整備」」が 29.9%、「空き店舗や空き家、農地の有効活用などを行う「施設再生」」が 29.4%となっている。

年代別でみると、「地域の良いところや危険な場所などを調査する「まち歩き」」は、50 歳代と 60 歳代で 4 割以上となっている。また、「空き店舗や空き家、農地の有効活用などを行う「施設再生」」は、20 歳代で 4 割以上と高くなっている。

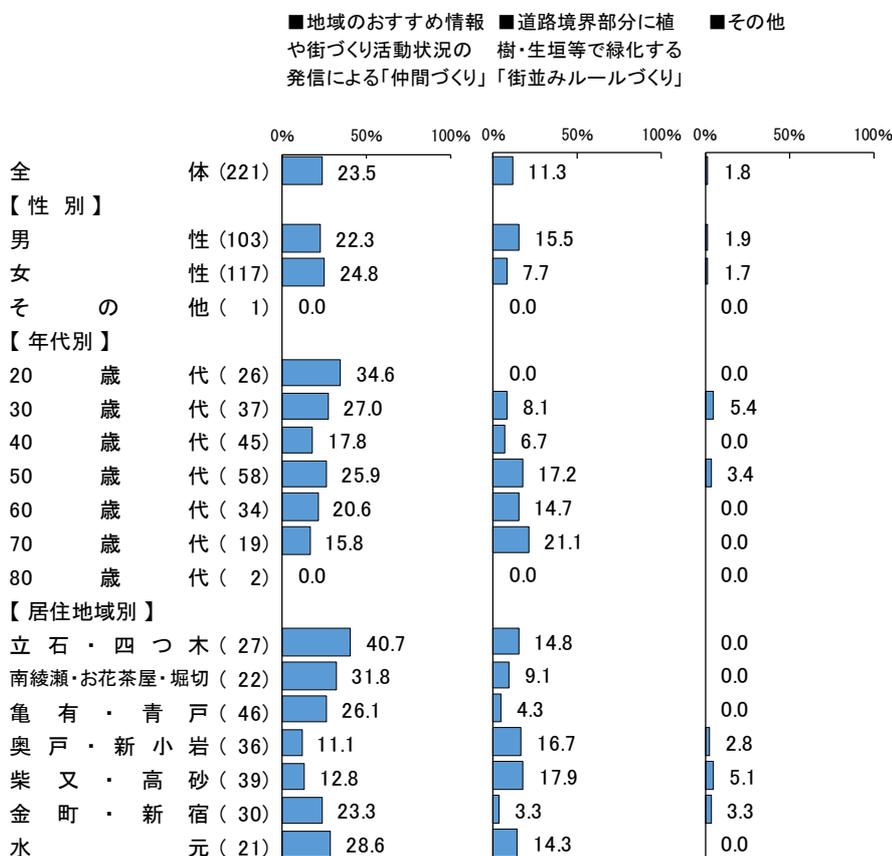
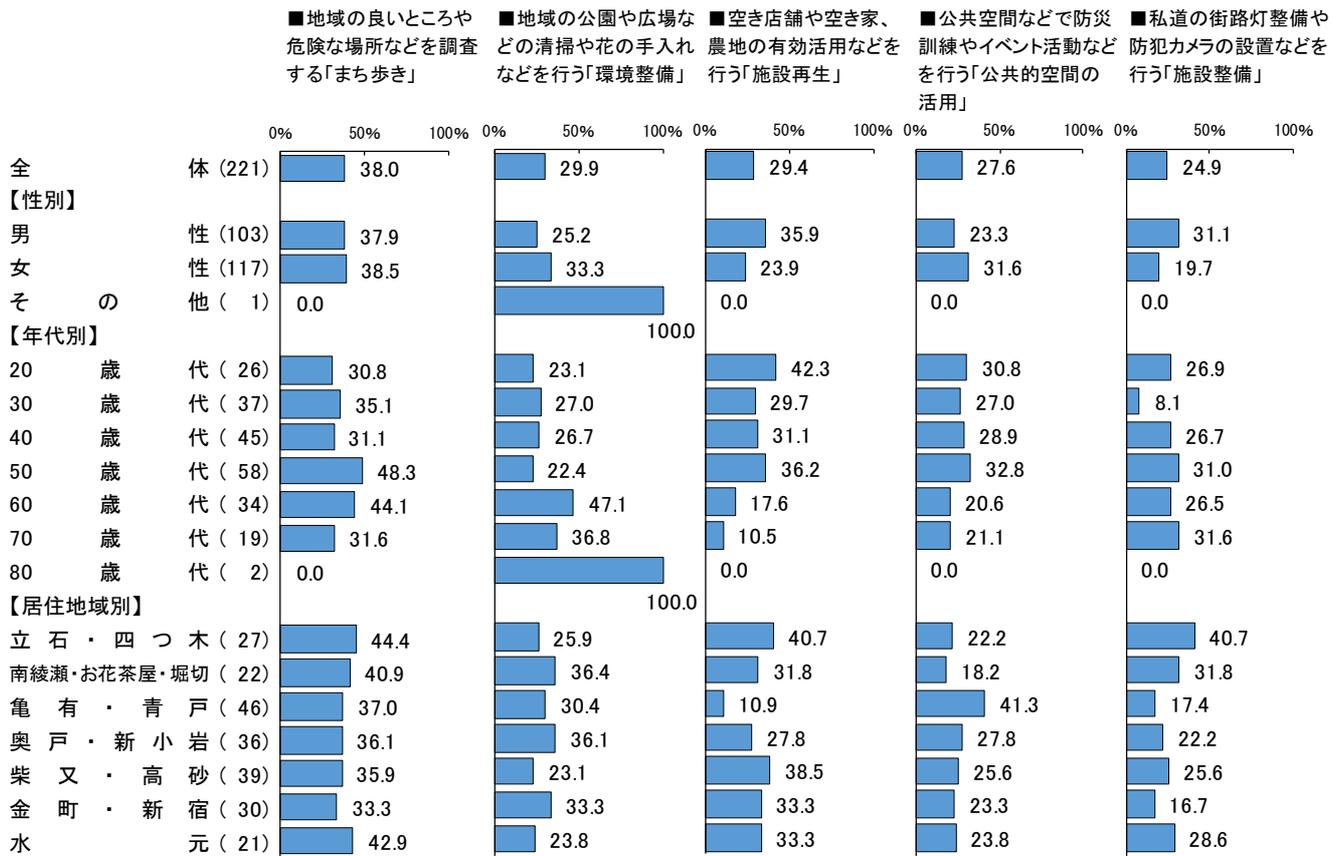
「その他」の内容としては、「ペットの飼い主のマナー向上」、「町内会のクリーン活動」などがある。

図表-51 街づくり活動とはどのような活動か（全体）



図表-52 街づくり活動とはどのような活動か

(全体・性別・年代別・居住地域別)



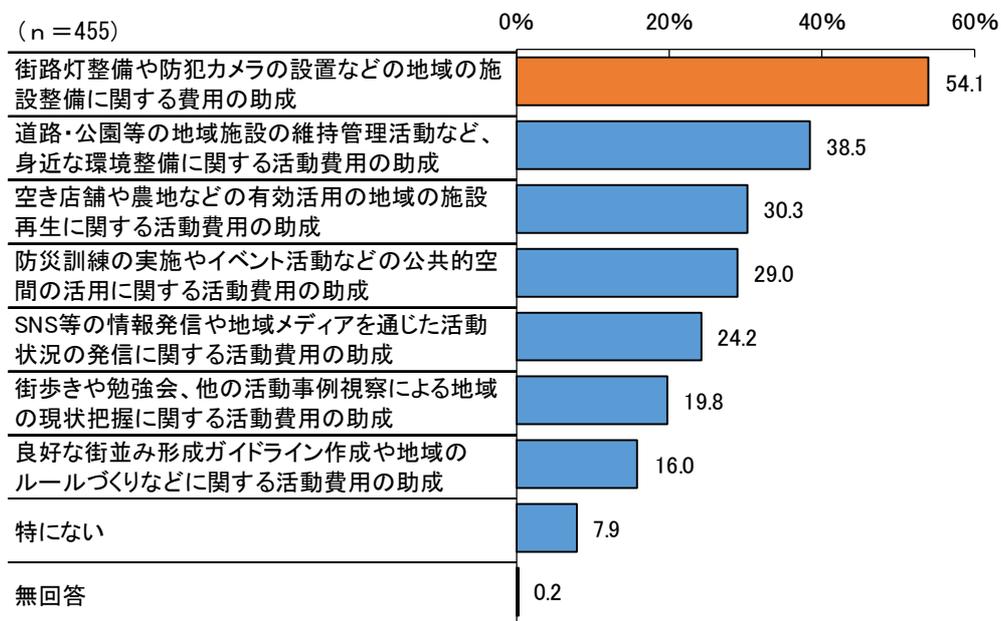
(28-1) 街づくり計画の作成にかかる活動の助成として、魅力を感じるもの

問 28-1 街づくり計画の作成にかかる活動の助成として、魅力を感じるものを選択してください。(あてはまるものすべて選択)

街づくり計画の作成にかかる活動の助成として、魅力を感じるものについては、「街路灯整備や防犯カメラの設置などの地域の施設整備に関する費用の助成」が 54.1%で最も高く、次いで「道路・公園等の地域施設の維持管理活動など、身近な環境整備に関する活動費用の助成」が 38.5%、「空き店舗や農地などの有効活用の地域の施設再生に関する活動費用の助成」が 30.3%となっている。

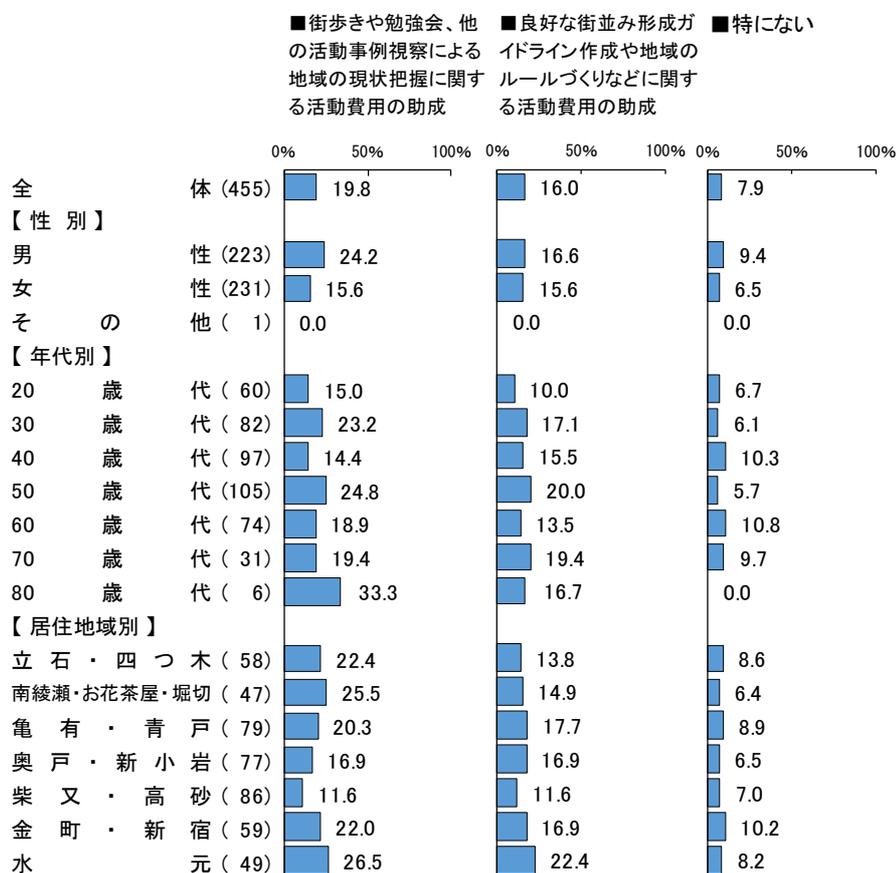
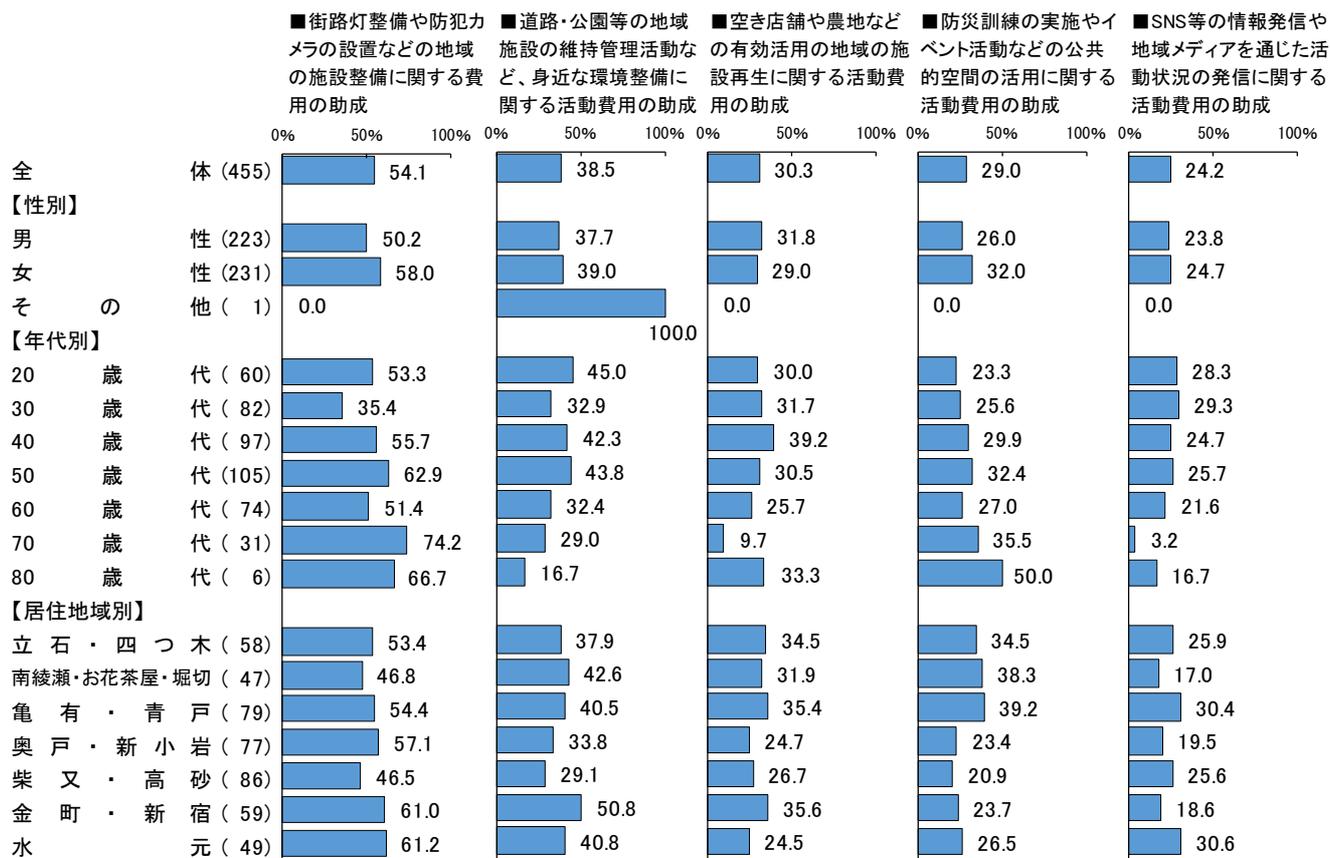
年代別でみると、「街路灯整備や防犯カメラの設置などの地域の施設整備に関する費用の助成」は、70歳代で7割以上と高くなっている。

図表-53 街づくり計画の作成にかかる活動の助成として、魅力を感じるもの（全体）



図表-54 街づくり計画の作成にかかる活動の助成として、魅力を感じるもの

(全体・性別・年代別・居住地域別)



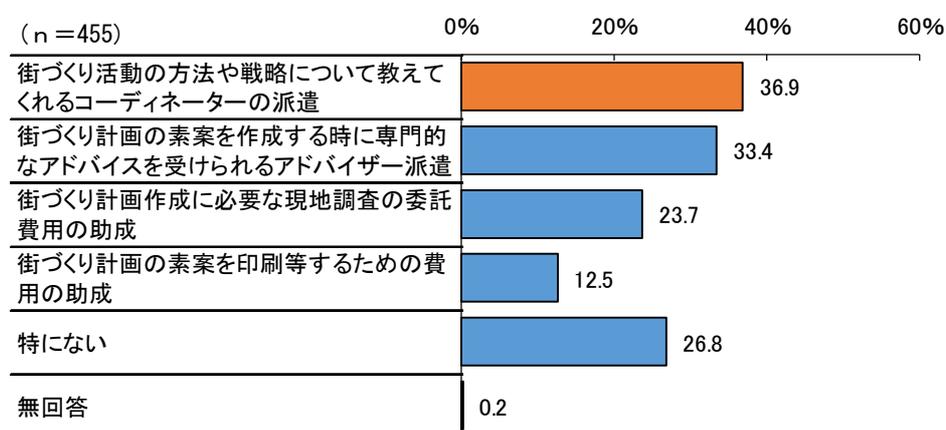
(28-2) 街づくり計画の作成にかかる支援として、魅力に感じるもの

問 28-2 街づくり計画の作成にかかる支援として、魅力に感じるものを選択してください。(あてはまるものすべて選択)

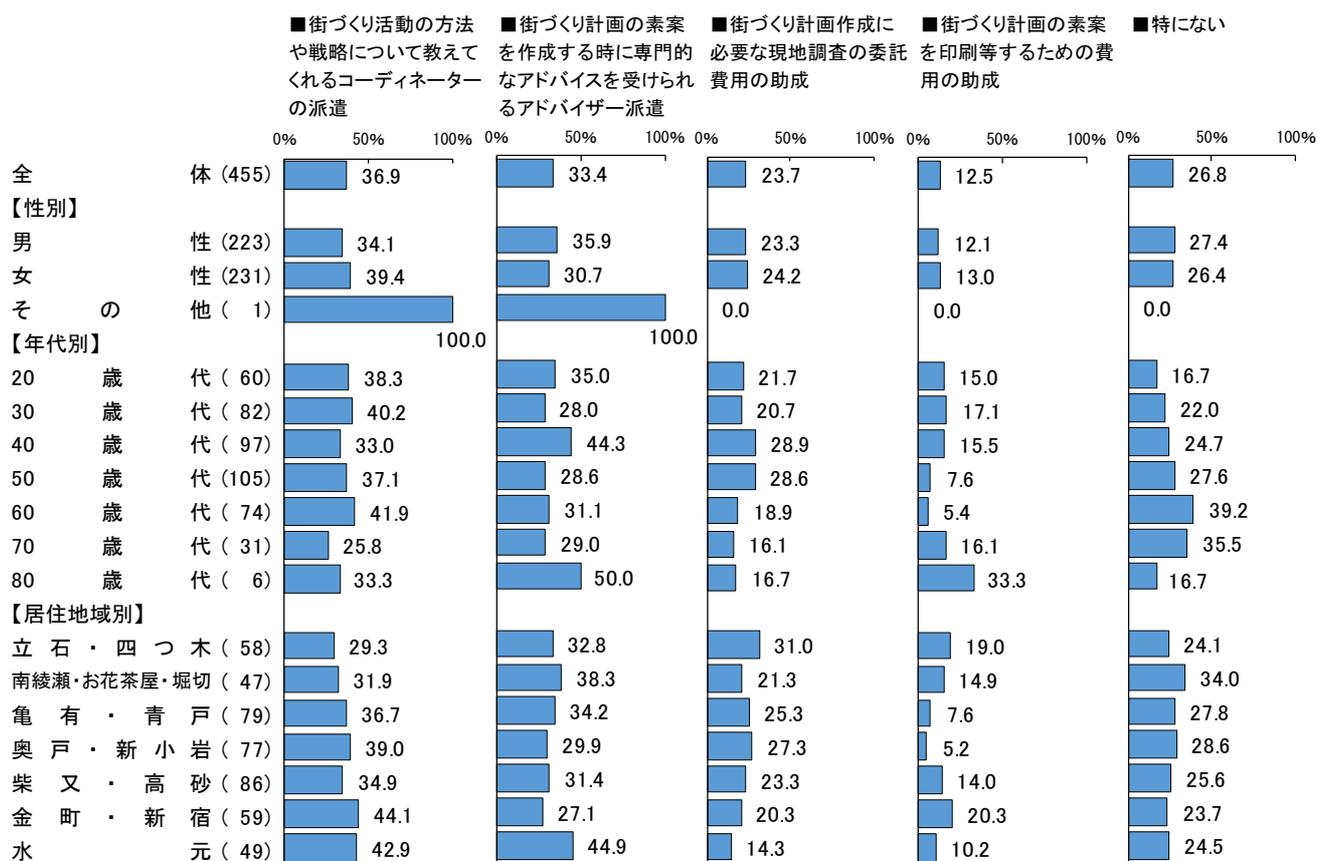
街づくり計画の作成にかかる支援として、魅力に感じるものについては、「街づくり活動の方法や戦略について教えてくれるコーディネーターの派遣」が36.9%で最も高く、次いで「街づくり計画の素案を作成する時に専門的なアドバイスを受けられるアドバイザー派遣」が33.4%、「街づくり計画作成に必要な現地調査の委託費用の助成」が23.7%となっている。

年代別でみると、「街づくり活動の方法や戦略について教えてくれるコーディネーターの派遣」は、30歳代と60歳代で4割以上と高くなっている。また、「街づくり計画の素案を作成する時に専門的なアドバイスを受けられるアドバイザー派遣」は、40歳代と80歳代で4割以上となっている。

図表-55 街づくり計画の作成にかかる支援として、魅力に感じるもの（全体）



図表-56 街づくり計画の作成にかかる支援として、魅力を感じるもの
(全体・性別・年代別・居住地域別)



(29) 街づくり推進条例について

問 29 葛飾区都市計画マスタープランや区民参加による街づくり推進条例についてご意見がありましたら教えてください。(自由記述)

【主なご意見】

- ・多くの意見を取り上げてほしい。
- ・公園を多くし、皆が、特に高齢者が気軽に散歩し、健康維持できるような街づくりにしたほうが、持続可能な葛飾区になると思う。
- ・どうしても硬く感じるので表現を変えた方が受け入れ易いのではないか。
- ・開かずの踏切の解決、縦のラインの交通問題（新金貨物線の利用）を行ってほしい。
- ・推進内容についての進捗状況をもっと周知してほしい。
- ・内容について認知してる方が少ないと思われる。認知なくして興味も持たれないので告知活動への注力が大事だと思う。
- ・現在進行している計画について、地域別で具体的に、リアルタイムで知る機会があればいいと思う。
- ・最近取り上げられている明石市や、流山市のような成功例を現地で研修して活かせるようにしてほしい。
- ・現在のところ、よくわからない。自分たちの住む街づくりは、自分たちの意見によるもので作られるとよいと思う。積極的に関わることが出来るとよいと思う。
- ・ネーミングが長すぎる。
- ・周知されているのかわかりません。私自身もわからない、知らない事がありますのでこの機会に学ぼうと思う。
- ・このアンケートがなければ全く知らなかった。ネットは自分から調べないと情報が出てこないで、ポスターなどで自然と目に入ってくるようにするなど、もっと宣伝し、まずは知ってもらうことが必要だと思う。
- ・活動状況がわからないので、発信力を高めてほしい。
- ・自転車通路の整備をしてほしい。
- ・自分が無関心だったからか、このような取り組みについて知りませんでした。区、まちの特徴を生かし、それぞれブロックごとにプランを少しずつ実現させ区全体が住みやすい街になれば良いと思いました。学校や企業、商店などを活用しもっと多くの区民に知ってもらい実現に向けて取り組んでほしい。
- ・今はじめて知ったので、よくわかりません。これから勉強させていただきます。
- ・何も知らなかったので、知ることから始めたいと思う。
- ・マスタープランそのものがまだ良くわからないから何とも言えない。
- ・空き家危険建物の積極的な行政の介入
- ・若者が住み続けるための移住先として選択される街づくり
- ・葛飾区は下町商店街をもっと活性化させて、寅さんや両さんを目当てに訪れる観光客の足を引き留め、一日中楽しく滞在してもらえるような街づくりをしたら良いと思います。街中に、ちょっと休憩できる公園、気軽に利用できるカフェがあるとよいと思います。子どもも多いので、子どもが成長した後も、いつでも帰ってきてくれるような街になってほしい。

- ・葛飾区都市計画マスタープランや区民参加による街づくり推進条例と言うものを区民がどれくらい知っているかわかりません。少なくとも私は知りませんでした。より良い環境作りを計画されていることは今回のアンケート参加で初めて知りました。広報かつしかなども目を通すようにしてありますが知らなかったです。現実的かわかりませんが、選挙などと絡めて区民に計画していることを周知できたりしたら良いのではないのでしょうか。投票後に冊子を渡す等、若い人から高齢者まで何となくは周知できるのではないかと思います。
- ・やはりマスタープラン含めて専門家のアドバイザーは必須だと思います。区外でこのような仕事していますが、アドバイザーの意見を反映しない街づくりのほとんどは、結果残念ながら失敗事例ばかりです。
- ・モニターになっていなければ知らなかった条例だったので、もっと区民が知ることができるように考えて効率的に周知、実施してほしい。
- ・防犯カメラを設置してほしい。
- ・都心区と同じ様に大型再開発しても葛飾区が魅力的な街としては分が悪い。都会と田舎の間で港区や千代田区とは違った23区を目指すべき。中川にサイクリングロードをつくり、荒川・中川・江戸川で、サイクリングの街葛飾区などもよいのではないか。
- ・若い人にも参加を積極的に促してほしい。
- ・マスタープランなど、認知度が低いと思うので、もっと広く知らしめる工夫がほしい。
- ・幅広い層が参加できる雰囲気作りが必要だと考える。
- ・区民が葛飾区の活性化に参加できる機会を増やしてほしい。
- ・広報紙や地区の掲示板などで、区や地域の情報をある程度把握しているつもりでしたが、今回参加させて頂いた当モニター調査で都市計画マスタープランを知るきっかけになり、とても有意義に感じました。とても関心のある事項ですので、勉強しながら継続的に取り組んでいきたいです。
- ・コミュニティベース。その入り口の敷居は低い。セミナーでもイベントでも、趣旨や経緯がまとまっていれば意見を言いやすい雰囲気になると思う。
- ・毎週広報かつしかを読んでいるのですが、区民が葛飾区のためにできることがあまりないので、そういう機会が増えたらとても嬉しいです。(葛飾区が積極的に清掃などのボランティアの機会を提供するなど)
- ・防犯カメラを目立つように、沢山設置してほしい。
- ・都市計画について触れる機会がないため、そもそも良いかどうかの評価も難しいと感じました。このアンケートで動画の存在を知り、観る機会を得ましたが、今まではなかったのを知る機会が増えると良いです。
- ・葛飾区に住みたいと思ってもらえる街にしたい。
- ・古民家の多い葛飾区なので、より有効に活用できるようにするべき。例えばカフェとか、雑貨屋など。それか古民家を活かして、昭和レトロな街並みにすれば更にニーズが増えると思う。
- ・安易なタワーマンションメインの再開発ではなく、地域にあった街作りを考えてほしい。
- ・都市計画マスタープランの存在自体をこのアンケートで知りました。もっとプロモーションしてほしいです。
- ・区民の年齢、性別、職業が多様化している中、コンセンサスを得ることは難しいと思いますが、努力を続けることはとても大事だと思います。

- ・金町、立石など再開発が進んでいるが、なぜその地域なのか、区内の優先順位の選定を説明してほしい。
- ・空が大きく見える街にしたいです。
- ・自転車に乗る人のマナーが悪いこと（イヤホンをしていて車に気が付かない、携帯電話を見ながらの運転、左側通行なのに、右側通行等）条例などで取り締まりを厳しくしてほしい。
- ・若い世代が暮らしたいと思える街づくり（畑のある都会など）
- ・都市マスという言葉聞いたことがなく、YouTubeを見て初めて内容を知った。このアンケートも周知効果があったと思う。ただ、区民参加の意識をあまり増やしてしまうと、強く反対してくる人が出てきて面倒な気もする。
- ・京成高砂駅北口近くの整然的でない幅員の狭い道の街灯が暗過ぎる。
- ・将来に渡って、魅力あふれる地域参画出来る街作りのプラン企画。
- ・あまり関心を持っていない私のような区民でも、特に困り事なく暮らしていける葛飾区は良い地域だと思います。この暮らしやすさは、私の知らないどなたかの力によるものなので、実際に街づくりの現場で働く方々が働きやすい環境があり、働きに見合った報酬があるのであればそれ以上望むことは特にありません。
- ・実行性のある条例にしてほしい。ビジョンだけで終わらず、実現性の高い計画にしてください。
- ・葛飾区は海拔が低い為、大災害時に広範囲で水没する可能性が高いのでそのような大災害に備えた避難所、復旧、備蓄等の対策をもっと住民に周知させてほしいです。
- ・参加することの敷居が高く難しいため、気楽に参加できるきっかけがほしい。
- ・何かに参加してもどうせ変わらないという思いがほとんどの住民の意見だと思う。
- ・そもそも上記プランについて浸透していないと思うので、まずは区民での認知率向上が必須と思う。
- ・外部の人間を入れるのではなくて、葛飾区在住、勤務者だけで全てを決めるべきだと思う。
- ・新金線はいらない
- ・マスタープランのスローガンは、良く理解できる。さらに踏み込んだ計画などがあれば案内してほしい。
- ・マスタープランや条例をきちんと理解していないのですが、是非身体に障害があってもなくても快適に過ごせる地域づくりを行ってほしいです。視覚障害者の方でも高齢者の方でも車椅子の方でも歩きやすく通りやすい道、避難しやすい施設や利用しやすい商店街、お店。本当の意味で多くの方が暮らしやすい地域になってほしいです。また、最近は開発が進むとどこも同じような景観やお店が集まることが多いですが、人工的に整備した自然になりすぎず、元々の自然を活かしつつ下町の良さを活かした葛飾区になると良いと思います。
- ・区政に対して、何の関心も持たない人が多い。そんななかで区民参加を求めたところで一定の強制力が無いかぎり、多くの人を巻き込むことは難しいと感じる。知らない人とコミュニケーションを取ることは、煩わしいと感じる人が現代は多いと思うからだ。昔あったような回覧板や地域の清掃活動など、小さな人と人とのつながりがやがて大きなつながりを生む。そうすることで区民のコミュニケーションが増えて、もっと区政に対して興味を持つキッカケになると思う。

令和6年度
第1回葛飾区区民モニターアンケート調査報告書

令和6年（2024年）8月発行
葛飾区総務部すぐやる課すぐやる係
東京都葛飾区立石5-13-1
電話 03-3695-1111（代表）